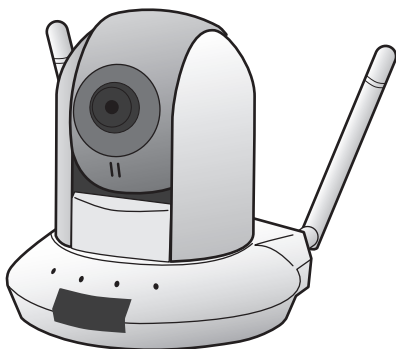
Panasonic®

取扱説明書

ネットワークカメラ

品番 DY-NC10

- 本書では、カメラの壁掛け方法を説明しています。(⇒ 13～15)
- 取り付けや取り外しの際は、必ず工事専門業者または販売店に依頼してください。
- 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(108～113ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT3T80-1

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (⇨ 108 ～ 113)

デジタルメディアプレーヤーなど

ビエラ・ディーガ

お出かけ先で使うとき

必要なとき

まずお読みください

■ 取扱説明書について

取扱説明書(本書):
主にカメラをパソコンまたは当社製デジタルメディアプレーヤー(SV-MV100)、当社製ポータブルテレビ(SV-ME970)、当社製テレビ(ビエラ)、当社製ブルーレイディスクレコーダー(ディーガ)で使うときの操作の流れを説明しています。また、CD-ROM 内のソフトウェアをパソコンに取り込むまでの操作も記載しています。

かんたん使い方ガイド:
「カメラを使う」までのイメージを記載したガイドです。使いたい状況を選んで、使うまでに必要な作業を確認してください。ガイドでは一部説明のみ記載しています。詳しくは取扱説明書(本書)をお読みください。

PCI Network Camera Viewer ユーザーズ・マニュアル(PDFファイル):
PCI Network Camera Viewer(付属のCD-ROM 内のソフトウェア)を操作するうえで必要な情報(操作説明やお知らせ事項など)を記載しています。

■ 記録内容の補償はできません

- 本機におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機およびSDカードの不具合で録画や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 本書内の表記とイラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- 本書内で参照していただくページを (⇨ ○○) で示しています。

■ 本機(カメラ)の設定について

本機(カメラ)に詳細な設定をするためには、パソコンが必要です。(⇨ 32 ~ 56)

■ サポートサイトについて

最新のサポート情報や取扱説明書は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html
付属の CD-ROM の内容については、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へお問い合わせください。(⇨ 25)

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2011年7月現在のものです。

☐ CD-ROM ● ソフトウェアやPCI Network Camera Viewerユーザーズ・マニュアルをパソコンにインストールしてお使いください。 ● CD-ROM の内容については、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へお問い合わせください。(⇨ 25)	☐ アンテナ VFA0549 ☐ 壁掛け金具 VFC4762
☐ ACアダプター REFA226J	☐ 落下防止ワイヤー取り付け金具 VFC4763
☐ LANケーブル VFA0550	☐ クリーニングクロス VFC4761

● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
● 付属のLANケーブル(1 m)は設定用です。より長さのあるLANケーブルが必要なときは、別途お買い求めください。

使用上のお願い

■ 本機（カメラ）について

- **本機(カメラ)を落としたり、ぶつけたりしないでください。また、本機(カメラ)に強い圧力をかけないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しないでください。**
- **IHクッキングヒーターの上に置かないでください。**
  本機(カメラ)やIHクッキングヒーターが故障する原因になります。
- **カメラは屋内でお使いください。(カメラを屋外に置いて使わないでください)**
  カメラは、防じん・防滴・防水仕様ではありません。ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。
  砂やほこりの多いところなど使用すると、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

■ つゆつきについて

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、ACアダプターを抜いて、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ お手入れ

ACアダプターを抜いてから、付属のクリーニングクロスまたは乾いた柔らかい布のようなもので拭いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと、乾いた柔らかい布のようなもので拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室/浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装が剥げるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ SDカード（別売）について

SDカードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えないでください。

- SDカードが破壊されるおそれがあります。また、SDカードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー(マイクで拾う音声に対するプライバシーを含む)、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 本機は、設置されているネットワークの状態や接続されている機器の状態に依存します

ネットワークの状態によっては、映像･音声が途切れたり、動体検知が働かない場合があります。またビエラやディーガなどの接続機器の状態によっては、検知されなかったり、映像が録画されない場合があります。本機は、どのような状態であっても、動作を100%保証するものではありません。本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いません。

■ ファームウェアのアップデートについて

インターネットからの不正な攻撃から守るため、常にカメラを最新のファームウェアにバージョンアップしてください。バージョンアップを怠ると、アクセスできなくなったり、情報の漏えいにつながる場合があります。 バージョンアップするにはパソコンが必要です。(⇨ 93)

■ 本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「工場出荷時の設定に戻す」(⇨ 55)を実行[またはRESETボタンで初期化(⇨ 10)]し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

カメラを使うまでの流れ

1 ルーターを確認する

お使いのルーターのタイプをご確認ください。

- 無線ブロードバンドルーター（WPS 対応）
- 無線ブロードバンドルーター（WPS 非対応）
- ブロードバンドルーター（有線接続）

2 カメラとルーターをネットワーク接続する

無線ブロードバンドルーター（WPS 対応）の場合

17 ページ

無線ブロードバンドルーター（WPS 非対応）の場合

18 ページ

ブロードバンドルーター（有線接続）の場合

19 ページ

デジタルメディアプレーヤー（SV-MV100）または ポータブルテレビ（SV-ME970）をお持ちの場合

2 ファームウェアをアップデートする

デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビを最新のファームウェアにアップデートします。

58 ページ

3 「簡単カメラ設定」アプリで設定する

「簡単カメラ設定」アプリで、ネットワーク接続設定を行います。

60 ページ

3 各機器を設定し、カメラの映像を楽しむ

さらに

お出かけ先で見る場合

80ページ

「PCI_VIEWER」アプリで、カメラの映像をお楽しみください。

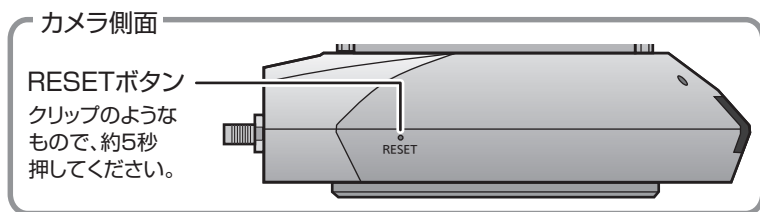
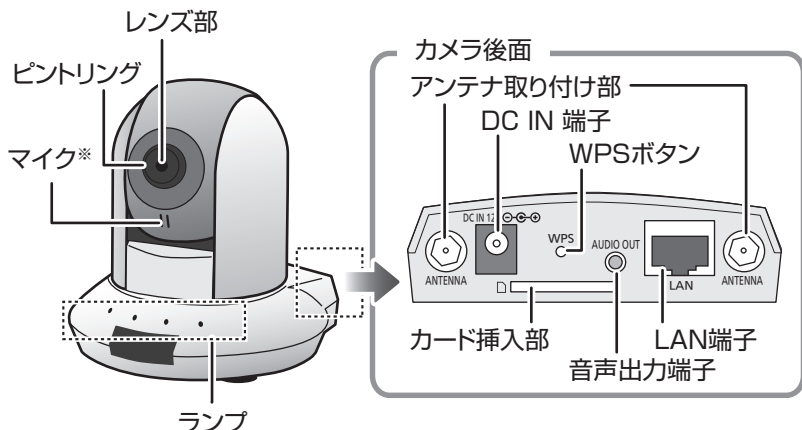
70ページ

さらに

お出かけ先で見る場合

68ページ

はじめに

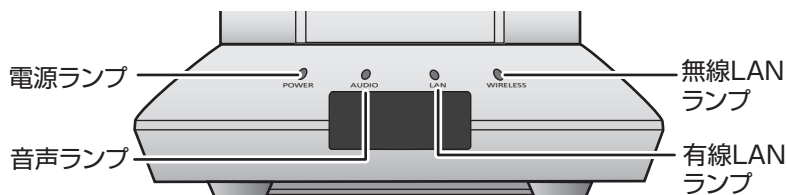
各部の名前

RESETボタン(初期化)について

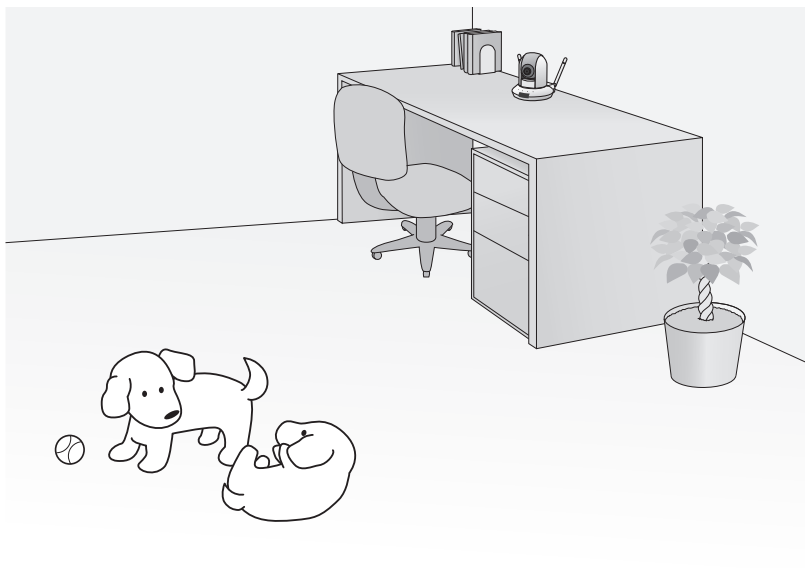
パスワードを忘れたときなどにRESETボタンを使って初期化してください。お買い上げ時(工場出荷時)の状態に戻すには、約1分かかります。その間は、本機の電源を切らないでください。

- 初期化した場合、もう一度カメラの各設定が必要になります。
- 初期化すると、カメラの向きが自動的に調整されます。カメラが静止するまでお待ちください。

※ マイクの音声はパソコンで聞くことができます。(⇨ 36)

ランプの表示について

ランプ表示は、カメラの状態によって以下のようになります。

ランプ	状態	動作
[POWER] (電源ランプ)	消灯	電源が入っていません。
	緑点灯	電源が入っています。
[AUDIO] (音声ランプ)	消灯	オーディオ機能が無効です。 [「ボリューム」(⇨ 34) が「0」になっています。]
	緑点灯	オーディオ機能が有効です。
	緑点滅	オーディオデータの送受信が行われています。
[LAN] (有線LANランプ)	消灯	LAN ケーブルが接続されていません。
	緑点灯	LAN ケーブルが接続されています。
	緑点滅	有線LANによるデータ送受信が行われています。
[WIRELESS] (無線LANランプ)	消灯	無線 LAN 機能が無効です。
	緑点灯	無線 LAN 機能が有効です。
	遅い緑点滅 (約 1 秒間隔)	アクセスポイントとの WPS 接続待機中です。
	緑点滅	無線 LAN によるデータ送受信が行われています。

カメラを設置する

お知らせ

- 平らなところに置いてください。不安定な場所には置かないでください。
- 傾斜のあるところに設置したり、壁掛けして使う場合は、必ず工事専門業者に依頼し、付属の壁掛け金具をお使いください。

壁掛けする場合 - 必ず工事専門業者にご依頼ください -

取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。本書で指示した以外の取り付けは行わないでください。

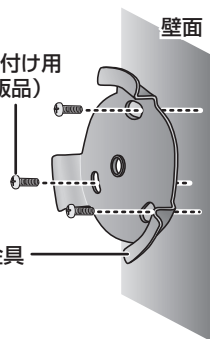
- 落下防止のために、必ず落下防止ワイヤー(市販品)でカメラと壁面などを取り付けてください。
- ねじ留めするときは、不十分な締め付けや締め付けすぎをしないようにしてください。
- 横向き、逆向きに設置したときは、カメラの映像の向きも変わります。壁掛けしたあと、設定メニューの「画像の向き」(⇨ 33) で向きの調整を行ってください。

準備する市販品:

- **金具取り付け用ねじ 3 本[壁面の材質(木材、鉄骨、コンクリートなど)に合った、長さ 25 mm 以上、呼び径4 mm 相当のねじをご購入ください。]**
- **落下防止ワイヤー 1 本(4 kg以上の質量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。)**
- **落下防止ワイヤー用ねじ 1 本**

1 カメラの設置場所を決める

2 壁掛け金具(付属)を壁面に確実に取り付ける

- ここでは、壁面に横向きに取り付ける方法を記載しています。
- 金具取り付け用ねじ(市販品)で取り付けてください。
- 取り付ける壁およびねじには、4 kg 以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。
- カメラを取り付けるとき、固定のためにカメラを少し回転させます。(⇨ 15、手順3)取り付ける位置によっては、ランプが見えなくなることがあります。回転させてもランプが確認できるように、あらかじめご確認ください。

■ 壁の材質がモルタルやコンクリートの場合は

設置したい場所にアンカー(市販品)※を取り付けてください。

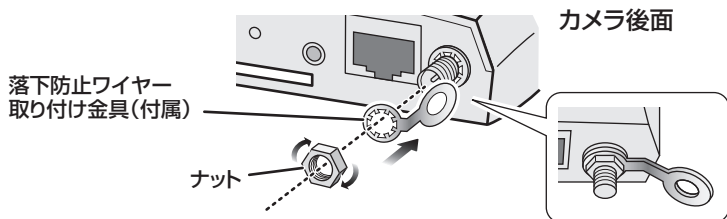
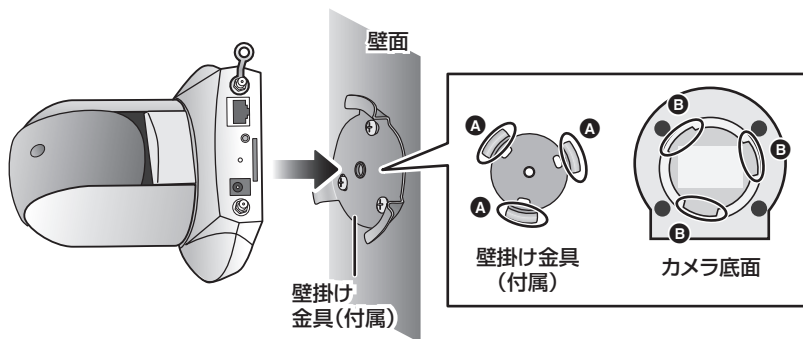
❶ 壁掛け金具を設置したい位置に合わせ、ねじ穴から印を付ける(3 箇所)

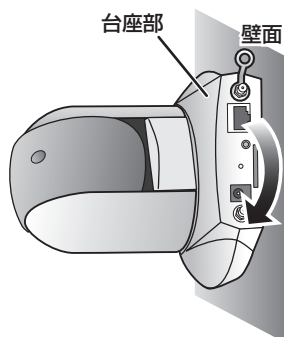
❷ 印に合わせてドリル(市販品)で穴を空け、アンカーを差し込む

※ 金具取り付けねじに合ったサイズのもの

カメラを設置する（続き）

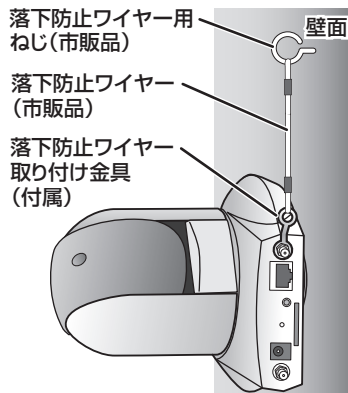
3 落下防止ワイヤー取り付け金具（付属）をカメラ後面に取り付ける

- アンテナ端子のナットを一度取り外して、落下防止ワイヤー取り付け金具を取り付けたあと、ナットを再度取り付けてください。
- 締め付けトルクは 29.4 N·cm です。

4 壁掛け金具のⒶの部分とカメラ底面のくぼみ（Ⓑ）を合わせて、カメラを壁掛け金具に取り付ける

5 カメラの台座部分を持って、止まって固定されるまで時計回りに回す

- カメラのレンズ付近を持つと、レンズ部分だけが回ります。必ず、台座部分を持って回してください。
- カメラを外すときは、カメラの台座部を持って、止まるまで反時計回りに回して、引いて取り外してください。

6 落下防止ワイヤー用ねじ（市販品）を壁面に取り付ける

7 落下防止ワイヤー取り付け金具と落下防止ワイヤー用ねじを、落下防止ワイヤー（市販品）で結ぶ

- 金具とワイヤーは、地震などでの落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
- ワイヤーのたるみが少なくなるようにしてください。

準備

お使いのルーターを確認する

まず、お使いのルーターをご確認ください。ルーター（アクセスポイント）の種類によって、カメラをネットワークに接続する方法や設定しなければならない項目が異なります。

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの説明書をご覧ください。

- 当社製デジタルメディアプレーヤー（SV-MV100）、ポータブルテレビ（SV-ME970）の「簡単カメラ設定」アプリを使っても接続できます。「簡単カメラ設定」アプリについて、詳しくは 60 ページをお読みください。

■ WPS対応のルーターの場合 (⇨ 17)

■ WPS 非対応のルーターの場合 (⇨ 18)

■ カメラとルーターを有線接続する場合 (⇨ 19)

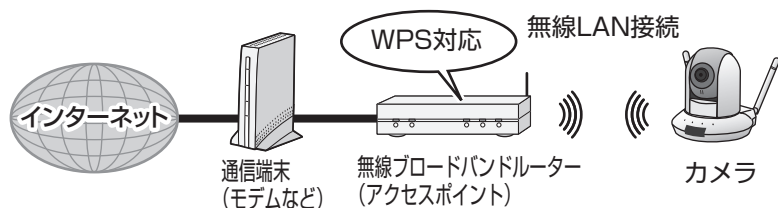
カメラとルーターをネットワーク接続する

WPS対応のルーターの場合

- 本機(カメラ)はDHCPでの動作を想定しています。あらかじめルーターのDHCPサーバー機能が働くように設定しておいてください。詳しくはルーターの説明書をお読みください。

ルーターがWPSに対応しているときの接続方法です。

ネットワーク接続イメージ

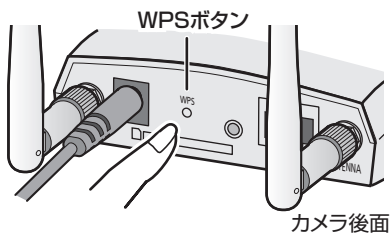
準備:

- カメラにアンテナを取り付ける (⇒ 21)
- カメラにACアダプターを接続する (⇒ 22)
- カメラにLANケーブルが接続されていたら、外しておく

1 ルーターのWPSボタンを押す

- ルーターのWPSボタンの位置については、ルーターの説明書をご覧ください。

2 カメラのWPSボタンを約3秒間押す

- ボタンを離すと、無線LANランプが緑点滅します。ランプ点滅後、ランプが点灯するまでお待ちください。
- カメラのWPSボタンは約3秒間押してください。押す時間が長過ぎると、登録できません。(無線LANランプが速く点滅します)また、短過ぎても登録できる状態にならないため、登録できません。

- WPSボタンを押す時間が長過ぎたり、短かったために登録できなかった場合は、ACアダプターを抜き差しするか、しばらく待ってから、もう一度手順1からやり直してください。
- 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。無線接続の場合はLANケーブルを抜いてください。

以上の設定で、カメラとルーターのネットワーク接続は完了です。

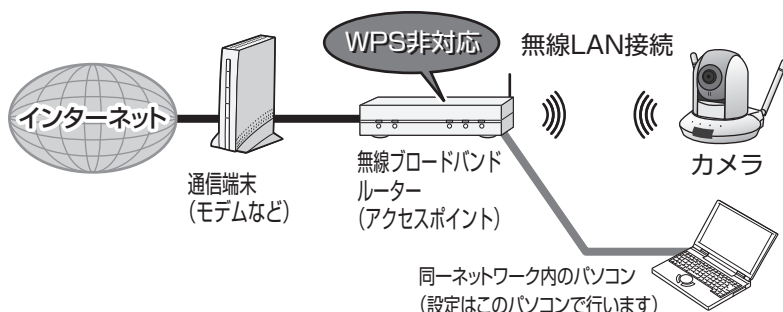
続いて、各機器の設定をしてください。各機器の参照先については9ページをご覧ください。

カメラとルーターをネットワーク接続する(続き)

WPS 非対応のルーターの場合

ルーターがWPSに対応していないときの接続方法です。この設定には、同一ネットワーク上に接続されたパソコンが必要です。

ネットワーク接続イメージ

準備:

● カメラにアンテナを取り付ける (⇨ 21)

1 カメラとルーターを LAN ケーブルで接続する (⇨ 20)

● 手動で無線 LAN 接続をする場合は、まずカメラとルーターを有線接続します。

2 カメラに AC アダプターを接続する (⇨ 22)

3 付属の CD-ROM を使って、パソコンに IPCam 管理者ユーティリティーをインストールする (⇨ 26)

4 IPCam 管理者ユーティリティーでカメラを検索する (⇨ 29)

5 「WEBブラウザでカメラの設定画面を開く」をクリックする (⇨ 29)

6 設定メニューの「ネットワーク」→「無線LAN」を選び、ブラウザーでカメラの無線 LAN 設定をする (⇨ 43)

7 カメラとルーターをつないでいた LAN ケーブルを抜く

● カメラとルーターが無線接続されます。

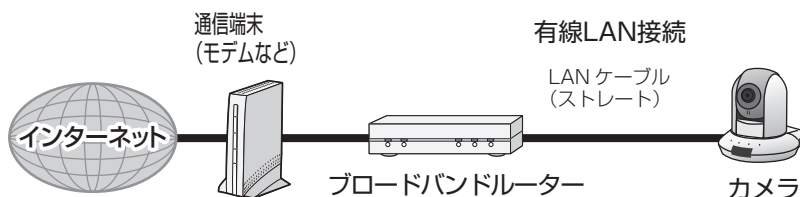
● 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。無線接続の場合は LAN ケーブルを抜いてください。

以上の設定で、カメラとルーターのネットワーク接続は完了です。

続いて、各機器の設定をしてください。各機器の参照先については9ページをご覧ください。

カメラとルーターを有線接続する場合

有線（LAN ケーブル）で接続するときの接続方法です。

ネットワーク接続イメージ

1 カメラとルーターを LAN ケーブルで接続する (⇨ 20)

2 カメラに AC アダプターを接続する (⇨ 22)

以上の設定で、カメラとルーターのネットワーク接続は完了です。

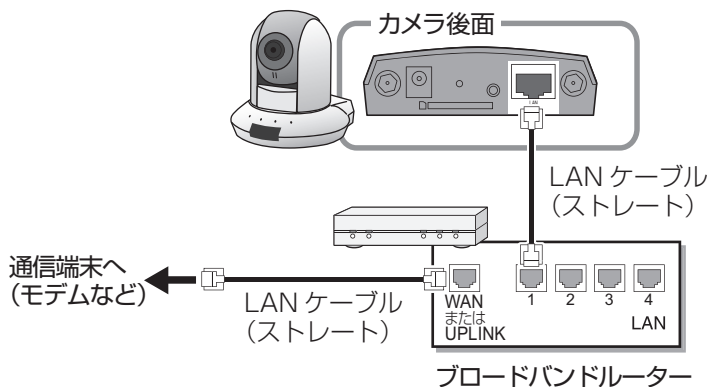
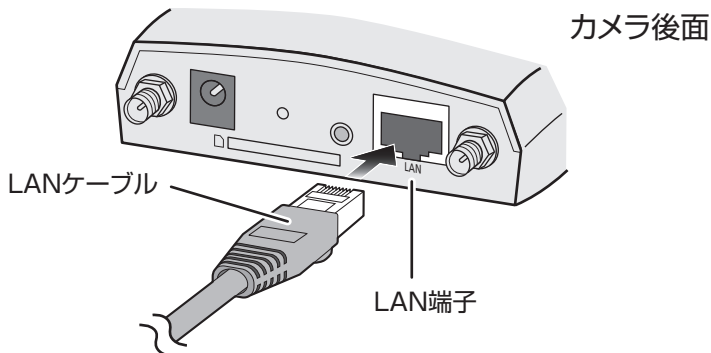
続いて、各機器の設定をしてください。各機器の参照先については9ページをご覧ください。

お知らせ

- カメラのネットワーク接続設定 (⇨ 17 ～ 19) を行うと、カメラの向きが自動的に調整される場合があります。カメラが静止するまでお待ちください。

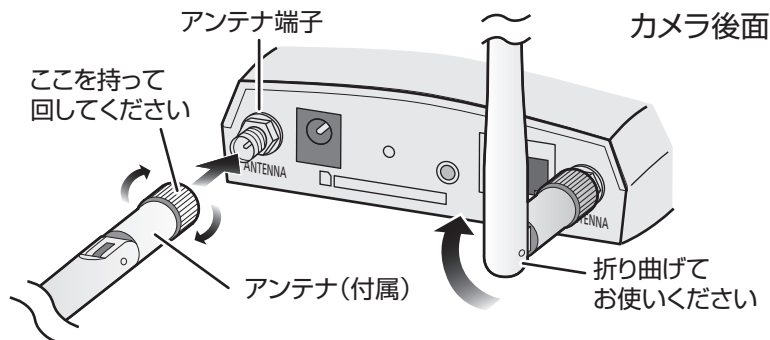
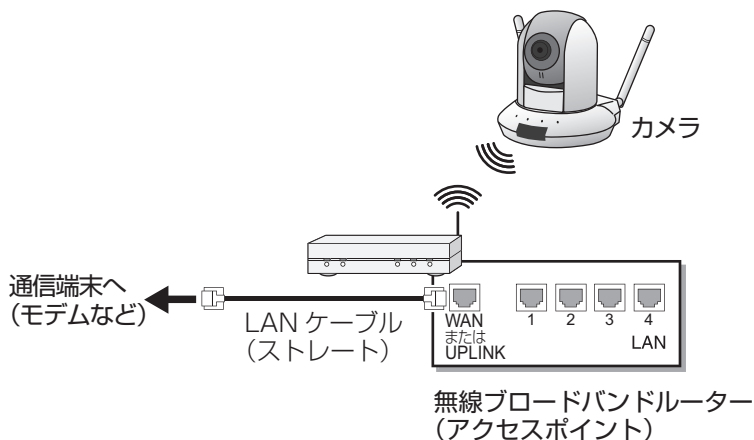
LANケーブルまたはアンテナを接続する

有線LAN接続する場合（LAN ケーブル）

1 LANケーブルをカメラのLAN端子とお使いのルーターのLAN端子に接続する

お知らせ

- LANケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 有線接続していると、無線機能はご使用できません。（どちらか一方のみ働きます）

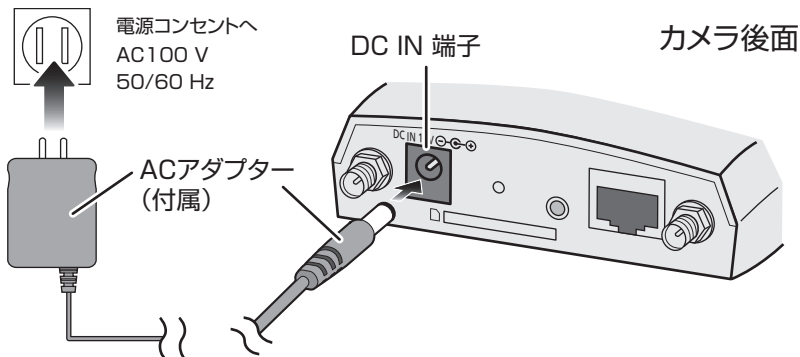
無線LAN接続する場合（アンテナ）

1 アンテナ（付属）をカメラのアンテナ端子に接続する（2本）

お知らせ

- 無線 LAN 接続時の電波が悪いと感じたら、アンテナの向きを変えてみてください。
- 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。無線接続の場合は LAN ケーブルを抜いてください。

ACアダプターを接続する

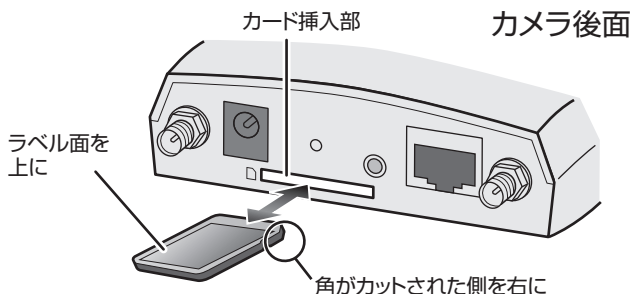
1 ACアダプター(付属)を接続する

- ACアダプターを接続すると、カメラに電源が入り、カメラの向きが自動的に調整されます。カメラが静止するまでお待ちください。
- ACアダプターを取り外しても、ネットワーク接続情報は保持されています。
再び、ACアダプターを接続すれば、保持された情報でネットワーク接続が行われます。

ACアダプターは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。

お知らせ

長期間使用しないとき
節電のため、AC アダプターを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。

SDメモリーカードを使う

カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

■ カードを取り出すには

カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

本機（カメラ）ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。（本書では、これらを**SD カード**と記載しています）

本機で使えるカードの種類	備考
SDメモリーカード（8 MB～2 GB）/ miniSD メモリーカード※ / microSDメモリーカード※	● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● 左記の容量以外の SD カードは使えません。
SDHCメモリーカード（4 GB～32 GB）/ microSDHC メモリーカード※	

※ 本機（カメラ）で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、カメラやカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。

書き込み禁止
スイッチ

- SD カードのフォーマットは本機（カメラ）ではできません。パソコンで行ってください。
- 2 GB の SD カードに約 23,000 枚記録可能です。（解像度：1280×1024、画質：最高 設定時）（記録可能枚数は目安です。撮影条件によって変化します）

準備

パソコンでカメラの映像を見るために

IPCam 管理者ユーティリティーを使う

カメラの検索などは、付属の CD-ROM の IPCam 管理者ユーティリティーをパソコンにインストールしてお使いになることをお勧めします。

ランチャーについて

付属の CD-ROM をパソコンに入れると、以下の画面が表示されます。

■ **IPCam 管理者ユーティリティー**

ネットワーク上のカメラの検索や設定が可能なアプリケーションをインストールします。

■ **PCI Network Camera Viewer**

パソコンでより高度な視聴･設定が可能なアプリケーションをインストールします。詳しくは付属のCD-ROM内の PCI Network Camera Viewer ユーザーズ･マニュアルをお読みください。

■ **PCI Network Camera Viewer ユーザーズ・マニュアル**

PCI Network Camera Viewer を使うための説明を記載した PDF 取説（PCI Network Camera Viewer ユーザーズ･マニュアル）をご覧になることができます。

- PDF取説をご覧になるには、Adobe Reader Ver.4以降が必要です。お使いのパソコンに Adobe Reader が標準で搭載されていない場合は、下記のサイトからダウンロードしてインストールしてください。
  http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2_allversions.html

お知らせ

- CD-ROMの内容については、プラネックスコミュニケーションズ株式会社サポートセンターへお問い合わせください。(2011 年 7 月現在)

プラネックスコミュニケーションズ株式会社サポートセンター
0570-064-707 受付：月曜日～金曜日、10 時～ 12 時、13 時～ 17 時
(サポートダイヤル) ※祝祭日およびプラネックス社指定の休業日を除く
03-5766-1615(FAX)

- CD-ROMは、プラネックスコミュニケーションズ株式会社からお客様に提供されているものであり、パナソニックは、その内容について、一切保証を行いません。また、パナソニックは、本CD-ROMに起因して生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。

動作環境

	Windows® XP	Windows Vista®	Windows® 7
対応 OS	SP3 (32 bit) Home Edition/ Professional Edition	SP1、SP2 (32 bit/64 bit) Home Basic/ Home Premium/ Business/ Ulitimate	(32 bit/64 bit) Starter/ Home Premium/ Professional/ Ulitimate
CPU	Intel Pentium4 2.4 GHz 以上(Core2 以上を推奨)		
搭載メモリー	1 GB 以上(2 GB 以上を推奨)		
ハードディスク	インストールに 100 MB 以上 動画 / 静止画の保存やスワップ領域に 2 GB 以上の空きが必要		
ネットワーク環境	上り/下りとも実測10 Mbps以上の速度で安定した有線LANまたは無線LAN環境		
サウンド	AC' 97 規格またはHD Audio規格準拠のサウンドデバイス (音声の入出力を行う場合のみ)		
ディスプレイ	解像度：1024×768 以上 ※ネットブック非対応 色数：16 bit 以上(32 bit 以上推奨)		

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチモニター環境には対応していません。
- インストール、アンインストールはシステム管理者権限(Administrator)のユーザーのみ可能です。管理者アカウントまたは標準ユーザーアカウントのユーザー名でログオンしてからご使用ください。Guest アカウントのユーザー名ではご使用になれません。
- Windowsの画面設定で、文字のサイズを標準よりも大きく設定していると、一部のボタンが画面の外に表示されて操作できないことがあります。このような場合は、文字のサイズを標準に戻してください。
- 映像と音声の再生には、Windows Media Player11やActiveXコントロールのインストールが必要です。
- カメラの設定には、Internet Explorer 6 SP1 以降が必要です。

IPCam 管理者ユーティリティーをインストールする

画面例は Windows7 のものです。

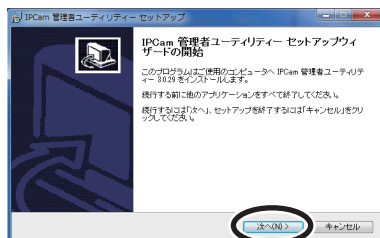
準備:

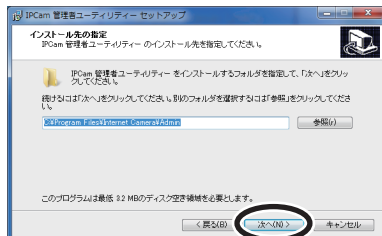
- CD-ROM を入れる前に、他の起動中のアプリケーションをすべて終了してください。

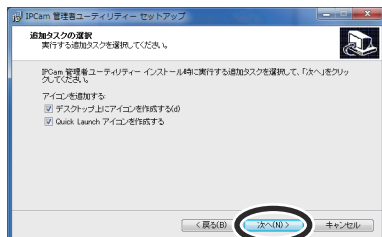
1 CD-ROM（付属）をパソコンに入れる

- ランチャーが起動します。
- ランチャーが自動起動しない場合は、パソコンのデスクトップの [コンピューター] をダブルクリックし、CD-ROM ドライブ内の [utility] フォルダー内の [setup.exe] をダブルクリックしてください。

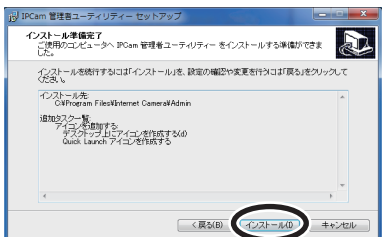
2 「IPCam 管理者ユーティリティー」を選ぶ

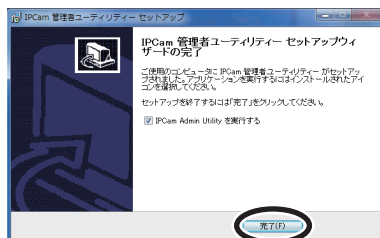
3 「次へ」をクリックして、インストールをスタートする

4 「次へ」をクリックする

●インストールするフォルダーを変更する場合は、「参照」をクリックして、インストール先のフォルダーを選んでください。

5 「次へ」をクリックする

●デスクトップのアイコンや、ショートカットのアイコンを作成する場合は、該当のチェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。

6 「インストール」をクリックする

●インストールの内容が表示されます。

●前の手順に戻って設定をやり直したい場合は、「戻る」をクリックしてください。

「完了」をクリックする

- インストールが完了します。
- アプリケーションをすぐに起動させたい場合は、「IPCam Admin Utility を実行する」をクリックしてチェックボックスにチェックを入れてから、「完了」をクリックしてください。

以上でインストールは終了です。

お知らせ

■ IPCam 管理者ユーティリティーを削除するには？（アンインストール）

通常はアンインストールする必要はありません。ソフトウェアの調子が悪くなったときにアンインストールし、再度インストールし直してください。

1 **[スタート] →([設定] →)[コントロールパネル] を選ぶ**
2 **[プログラムのアンインストール] をクリックする**
3 **削除したいソフトウェアを選び、[アンインストール] をクリックする**

- IPCam 管理者ユーティリティーを削除するときは、「IPCam 管理者ユーティリティー」を選んでください。
- パソコンによってアンインストールの手順が異なる場合があります。詳しくは、お使いのパソコンの説明書をお読みください。

IPCam 管理者ユーティリティーを使って カメラを検索する

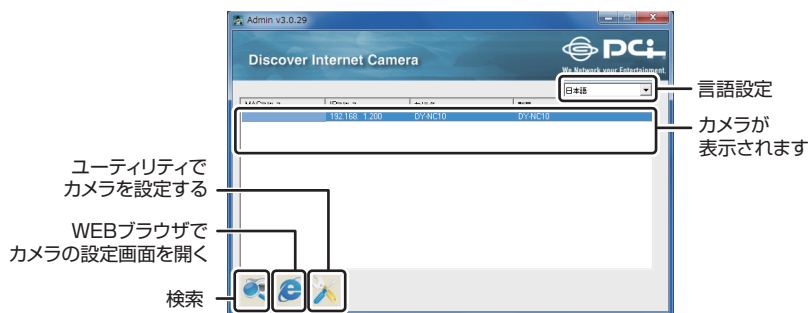
●IPCam 管理者ユーティリティーはプラネックスコミュニケーションズ株式会社の製品です。内容については、プラネックスコミュニケーションズ株式会社サポートセンターへお問い合わせください。(⇨ 25)

1 をダブルクリックして、IPCam 管理者ユーティリティーを起動する

●デスクトップのショートカットまたはスタートメニュー内の「IPCam 管理者ユーティリティー」をクリックしてください。

2 「検索」をクリックする

●お使いのローカルネットワークに接続されているすべてのカメラが表示されます。
●表示されたカメラを選ぶと、「WEBブラウザでカメラの設定画面を開く」と「ユーティリティでカメラを設定する」が表示されます。

■ IPCam 管理者ユーティリティー画面の見方

検索	ローカルネットワークに接続されているカメラを検索します。
WEBブラウザでカメラの設定画面を開く	上のカメラ一覧から映像を見たいカメラを選ぶと、ブラウザーでカメラの映像を見ることができます。
ユーティリティでカメラを設定する	カメラのネットワークとセキュリティーの設定をします。
言語設定	言語を選びます。本機(カメラ)では、日本語、英語、中国語(簡体中国語、繁体中国語)に対応しています。

●お使いのパソコンによっては、初回起動時にファイアウォールの警告が表示されることがあります。その場合は「ブロックを解除する」を選んでください。

パソコンでカメラの映像を見る

ブラウザー設定画面を使ってカメラの角度や向きを変更したり、カメラの映像をお好みの画質にしたりすることができます。カメラの設定を変更すると、より便利にお使いいただけます。

- カメラの設定には、Internet Explorer 6 SP1 以降が必要です。
- 動作環境 (⇨ 25) を満たしていても、一部ご使用になれないパソコンがあります。
- ご使用のパソコンの使用環境などにより本書の説明内容･画面と実際の内容･画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。
- パソコンの基本的な操作、用語については説明しておりません。パソコンの説明書などをお読みください。

カメラの映像を確認する

準備:

IPCam 管理者ユーティリティーを起動する (⇨ 29)

1 IPCam 管理者ユーティリティー画面の「検索」( )をクリックし、表示されたカメラから、映像を確認したいカメラを選ぶ

2 「WEBブラウザでカメラの設定画面を開く」をクリックする

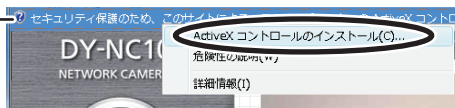
- ブラウザーのアドレス欄にカメラの IP アドレスを入力して、ブラウザー設定画面を開くこともできます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに「admin」を入力して、「OK」をクリックする

- パスワードの「admin」は初期設定です。変更している場合は変更したものを入力してください。

4 ブラウザーにメッセージが表示されたら、メッセージの上で右クリックし、メニューから「ActiveX コントロールのインストール」を選んでクリックする

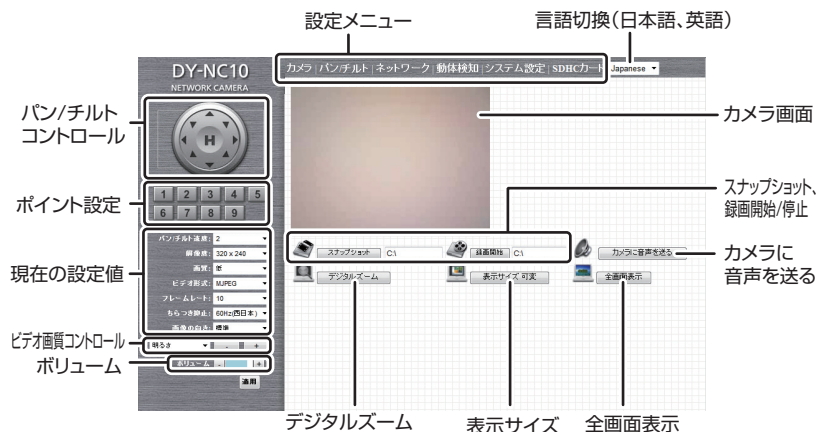
- メッセージは初回視聴時に表示されます。
- マイクで集音した音声をパソコンで聞くには、ActiveX が必要です。

このメッセージの上で右クリック

5 「インストールする」をクリックする

- インストールが終了すると、カメラに映された映像(ブラウザー設定画面)を見ることができます。

お知らせ

- お出かけ先で使う場合は、80 ～ 92 ページをお読みください。
- 視聴·設定について、詳しくは、32 ～ 56 ページをお読みください。

■ ブラウザー設定画面の見方

カメラ画面

現在カメラが映している映像です。この画面をクリックしても、パン/チルトの操作ができます。映像がぼやけるときは、ピントリングを回して調整してください。

- ピントリングを回し過ぎないでください。レンズが外れることがあります。

それぞれの項目については、下記のページをお読みください。

- **設定メニュー(⇨ 32 ～ 56)**
- **パン/チルトコントロール (⇨ 32)**
- **ポイント設定 (⇨ 32)**
- **現在の設定値 (⇨ 33)**
- **ビデオ画質コントロール (⇨ 34)**
- **ボリューム (⇨ 34)**
- **スナップショット、録画開始 / 録画停止 (⇨ 35)**
- **カメラに音声を送る (⇨ 36)**
- **デジタルズーム (⇨ 36)**
- **表示サイズ (⇨ 36)**
- **全画面表示 (⇨ 36)**

パソコンでカメラの映像を見る（続き）

カメラ

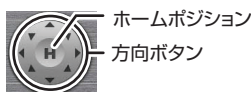
ここでは、主にカメラ自体の設定を変更できます。
各項目を変更後、「適用」をクリックすると設定されます。

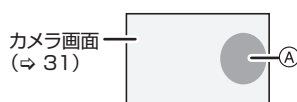
パン/チルト | ネットワーク | 動体検知 | システム設定 | SDHCカード Japanese

■ パン/チルトコントロール

カメラの向きの変更をパソコンから操作することができます。この操作は、画面左のパン/チルトコントロールの方向ボタンだけでなく、カメラ画面をクリックすることでも可能です。

例：カメラを右に向けたいとき

方向ボタンで操作する

方向ボタンの [▶] をクリックする

カメラ画面で操作する

カメラ画面のⒶの辺り（画面の右側）をクリックする

- カメラが右に向き、観測された映像が表示されます。
- カメラ画面で操作する場合も、方向ボタンと同じように８方向への向きの変更が可能です。

ホームポジションに戻す

カメラの向きをホームポジションに戻します。この操作は方向ボタンでのみ可能です。
方向ボタンの「H」（ホームポジション）をクリックする
- しばらく向きを変える動きをしたあと、ホームポジションに戻ります。

■ ポイント設定

番号をクリックするだけで、「プリセットポイントを設定する」(⇨ 37) で設定したプリセットポイントにカメラの向きを自動的に変更します。

■ 現在の設定値

項目名	設定・お知らせ
パン/チルト速度 カメラの向きを変えるときの速さを5段階で設定します。	●「1」を選ぶと最も速く動かすことができますが、正しい位置に調整しにくくなります。正しく調整したいときは、遅い速度の設定をお使いください。 ●初期設定は「2」です。
解像度 カメラの映像の解像度を設定します。	**「1280×1024」、「640×480」、「320×240」** ●より高い解像度を選ぶと、被写体をより鮮明に映すことができますが、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。 ●初期設定は「640×480」です。
画質 カメラの映像の画質を5段階で設定します。	**「最高」、「高」、「標準」、「低」、「最低」** ●より高い画質を選ぶと、被写体をより鮮明に映すことができますが、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。 ●初期設定は「低」です。
ビデオ形式 映像のタイプです。	**「MJPEG」** ●「MJPEG」は MotionJPEG の略です。
フレームレート 1秒間当たりの画像の数を設定します。数値の高い方がよりなめらかな動きになります。	**「30」、「15」、「10」、「5」、「3」** ●より高いフレームレートを選ぶと、被写体の動きをよりなめらかに映すことができますが、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。 ●「解像度」が「1280×1024」のときは、「30」に設定できません。 ●初期設定は「10」です。
ちらつき抑止 電源の周波数を設定して、画面のちらつきを抑えます。	**「50Hz(東日本)」、「60Hz(西日本)」** ●蛍光灯が使われている場所でカメラを使用すると、映像がちらついて見えることがあります。電源の周波数を蛍光灯の周波数に合わせることで、ちらつきを抑えることができます。 ●どちらに変更すればよいかわからないときは、よりちらつきが少ない周波数を選んでください。 ●初期設定は「60Hz(西日本)」です。
画像の向き 画像を回転させることができます。	**「標準」、「垂直」、「水平」、「180度回転」** ●カメラを水平な場所ではなく天井や壁に設置するときに、画像の向きを回転させてお使いいただけます。 ●初期設定は「標準」です。

パソコンでカメラの映像を見る(続き)

項目名	設定・お知らせ
ビデオ画質コントロール 表示される映像の画質を調整します。	**「明るさ」、「彩度」、「シャープネス」** ●変更したい項目を選んだあと、「+」か「−」をクリックして調整してください。
ボリューム マイクの感度や音声出力端子に接続したスピーカー(市販品)の音量の大きさを調整します。	●中央のバーは現在の音量を表示しています。「+」か「−」をクリックして調整してください。 ●ボリュームが「0」になると、音声ランプが消灯します。

■ スナップショット、録画開始/録画停止（パソコンで静止画または動画を保存する）

お好みのタイミングでパソコンに静止画や動画を保存することができます。

●動体検知機能 (⇨ 48) による動画の自動保存もあります。

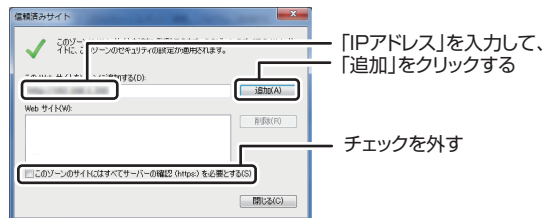
準備:

1 WEBブラウザーのメニューから「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする

2 「セキュリティ」タブから「信頼済みサイト」を選び、「サイト」をクリックする

3 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https://)を必要とする」のチェックを外す

4 「このWebサイトをゾーンに追加する」にカメラのIPアドレスを入力し、「追加」をクリックする

●カメラIPアドレスがわからないときは、IPCam管理者ユーティリティーから確認することができます。

●「Web サイト」の欄に手順**4**で入力した IP アドレスが表示されます。

5 「閉じる」をクリックして、WEBブラウザーを再起動する

■ スナップショットでパソコンに静止画を保存する

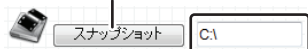
表示された映像を静止画として保存します。

スナップショットを
撮影します。

スナップショット　C:\

クリックすると、画像の保存先を
設定することができます。

1　あらかじめ、画像の保存先を決める

- 「スナップショット」の右の欄をクリックすると、画像の保存先を設定します。

2　「スナップショット」をクリックする

- 静止画を撮影し、手順 **1** で設定した保存先に画像を保存します。

- 「スナップショット」で撮影した静止画は、カメラに挿入したSDカードには保存されません。SDカードに保存されるのは、動体検知 (⇨ 48) によって撮影された静止画のみです。

■ 録画開始 / 録画停止でパソコンに動画を保存する

表示された映像を動画として保存します。

1　あらかじめ、動画の保存先を決める

- 「録画開始」の右の欄をクリックすると、動画の保存先を設定します。

2　[録画開始] をクリックする

- 録画を開始します。また、「録画開始」の表示が「録画停止」に変わります。

3　録画を停止したいときに [録画停止] をクリックする

- 録画を停止し、手順 **1** で設定した保存先に動画を保存します。また、「録画停止」の表示が「録画開始」に変わります。

- 録画した動画はAVI形式で保存され、パソコンのメディアプレーヤーなどで再生することができます。
- この機能で録画した動画は、カメラに挿入したSDカードには保存されません。SDカードに保存されるのは、動体検知 (⇨ 48) によって録画された動画のみです。

お知らせ

- お使いの環境により、「スナップショット」と「録画開始」の保存先が指定できない場合があります。その場合は管理者権限で設定をしてください。

パソコンでカメラの映像を見る（続き）

■ カメラに音声を送る（音声出力端子に接続したスピーカーの設定）

お使いのパソコンのマイクで入力した音声を、カメラに接続したスピーカー（市販品）から出力します。

- カメラの音声出力端子 (⇨ 10) にスピーカーを接続していないと、音声は出力されません。

■ デジタルズーム

観測した映像の一部を拡大できます。

1 「デジタルズーム」をクリックする

2 「有効にする」にチェックを入れる

3 スライドバーを動かし、ズーム倍率を決める

4 ズームエリア（緑枠）の位置を動かし、拡大する位置を決める

- 倍率は目安です。
- 拡大するほど、画質は劣化します。

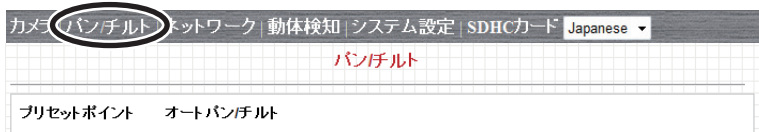
■ 表示サイズ

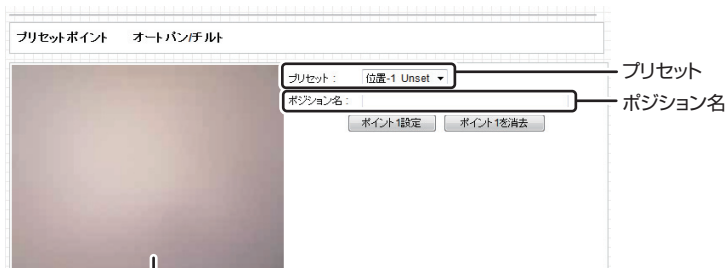
「可変」を選ぶと、ブラウザーの画面サイズに応じて映像の表示サイズを調整します。
「固定」を選ぶと、ブラウザーの画面サイズを変更しても映像の表示サイズは変わりません。
クリックするたびに切り換わります。

■ 全画面表示

カメラで撮影した映像をフルスクリーン（全画面）で表示します。
元の表示に戻すには Esc キーを押してください。

パン/チルト

ここではパン(水平方向)またはチルト(垂直方向)にカメラの向きを変更します。またプリセットポイントを設定すると、自動的にそのポイントを映すこともできます(オートパン/チルト)。

■ プリセットポイントを設定する

カメラが観測するポイントを9つまで設定できます。観測するポイントを保存しておけば、自動的にカメラの向きを変えながら観測することができます。

カメラが観測している画面

1 「プリセット」のメニューから、設定したい番号を選ぶ

- 「プリセット」で選んだ番号がポイントの番号になります。ここでは、「ポイント１」を設定します。

2 カメラを操作して、お好みの向きにする

- カメラの向きの操作は「パン/チルトコントロール」(⇨ 32) と同じです。
- カメラをより正確に動かして設定したいときは、「パン/チルト速度」(⇨ 33) を遅い設定にしてください。

3 「ポジション名」を入力して、「ポイント１設定」をクリックする

- 現在カメラで観測されている位置が保存されます。
- 「ポジション名」は 31 文字まで入力できます。

プリセットポイントを消去するには

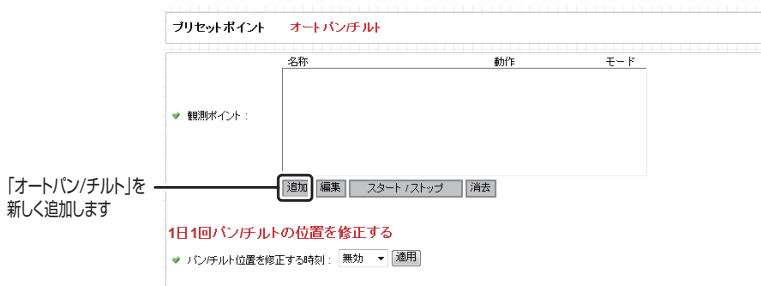
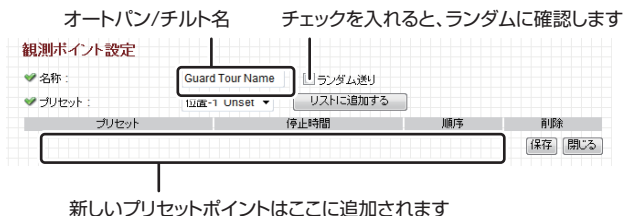
1 「プリセット」のメニューから、消去したい番号を選ぶ

2 「ポイント１を消去」をクリックする

■ プリセットポイントを順番に確認する(オートパン/チルト)

設定したプリセットポイントを順番に確認することができます。

準備:
「プリセットポイントを設定する」(⇨ 37) で2つ以上のプリセットポイントを設定しておいてください。

1 「追加」をクリックする
- 新しいオートパン/チルト設定を追加します。

2 オートパン/チルト名を入力する
- オートパン/チルト名は最大 31 文字まで入力できます。

3 設定したい「プリセットポイント」を選び、「リストに追加する」をクリックする
- 新しいオートパン/チルトが下のリストに追加されます。

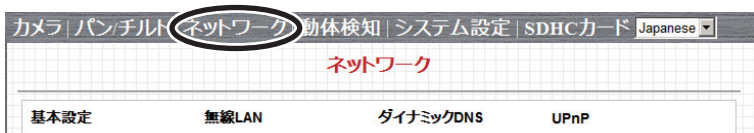
4 観測する時間、観測する順番を設定し、「保存」をクリックする
- それぞれのプリセットポイントで設定することができます。

5 「スタート/ストップ」をクリックして、「オートパン/チルト」を開始する

パソコンでカメラの設定をする

ネットワーク

IPアドレスの変更やダイナミックDNSの使用など、ネットワークに関係する内容を設定できます。

各項目を変更後、「適用」をクリックすると設定されます。

基本設定

IP アドレスを変更して、お好みのポート番号に設定することができます。お出かけ先でカメラの映像を見たいときなど、IPアドレスを固定する必要があるときなどにお使いください。

■ TCP/IP

項目名	設定・お知らせ
ネットワークタイプ ネットワークのタイプを選びます。	**「DHCP」、「固定 IP アドレス」** ●「DHCP」を選ぶと、IP アドレスの入力はできません。 ●初期設定は「DHCP」です。
IPアドレス カメラの IP アドレスを設定します。	●「ネットワークタイプ」で「固定 IP アドレス」を選ぶと、IP アドレスの入力ができます。 ●初期設定は「192.168.1.200」です。 ●固定 IP アドレスを設定する場合は、他の機器で使用していない IP アドレスを割り当てるようにしてください。 ●変更した場合は、下記に変更したアドレスをご記入ください。 変更後の IPアドレス　　　.　　　.　　　.
サブネット マスク カメラのサブネット マスクを設定します。	●初期設定は「255.255.255.0」です。
ゲートウェイ ローカルネットワークのゲートウェイアドレスを設定します。	●初期設定は「192.168.1.1」です。

パソコンでカメラの設定をする（続き）

項目名	設定・お知らせ
優先 DNS サーバ ローカルネットワークの DNS サーバーアドレスを設定します。	● 通常はゲートウェイと同じIPアドレスを入力します。DNSサーバーのIPアドレスがわからないときは、ご契約のインターネット接続業者か、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 初期設定は「192.168.1.1」です。
代替 DNS サーバ バックアップ用のDNSサーバーの IP アドレスを設定します。	●「優先DNSサーバ」が到達できないときは、ここで設定したIPアドレスが DNSサーバーとして使用されます。
HTTPポート WEB 管理画面のポート番号を設定します。	●「80」に設定されていないときは、ブラウザーなどでカメラにアクセスするときに、URLの末尾にポート番号を追加する必要があります。 （例： IPアドレスが 192.168.1.200、HTTP ポートが 81 のとき http://192.168.1.200:81） ● 他の機器で「80」をお使いの場合は、他の数値を入力してください。 ● 初期設定は「80」です。

■ PPPoE

● PPP（Point to Point Protocol）とは、電話回線を通じてコンピューターをネットワークに接続するプロトコルで、それをイーサネットを通して利用するためのプロトコルを PPPoE（PPP over Ethernet）と言います。電話回線などで行われるダイヤルアップ接続と同じ機能を、LANなどの「つなぎっぱなし」の環境でも利用できるようにしたものです。PPPoE を使うと、LAN 上からでもユーザー認証や IP アドレスの割り当てなどができるようになります。

項目名	設定・お知らせ
PPPoE機能 PPPoE 機能を設定します。	**「有効」、「無効」** ●「無効」を選ぶと、PPPoE 機能を利用しません。 ● 初期設定は「無効」です。
ユーザー名 PPPoEユーザー名を入力します。	● PPPoEユーザー名はご契約のインターネット接続業者から指定されます。わからないときは、接続業者にお問い合わせください。
パスワード PPPoEパスワードを入力します。	● PPPoEパスワードはご契約のインターネット接続業者から指定されます。わからないときは、接続業者にお問い合わせください。
MTU ご契約のインターネット接続業者から割り当てられた MTU を入力します。	● わからないときは、接続業者にお問い合わせください。（ほとんどのインターネット接続業者では初期設定で動作します） ● MTU とは Maximum Transmission Unit（最大転送単位）の略です。 ● 初期設定は「1392」です。

無線LAN

カメラの無線LANを設定します。

- カメラと接続するルーター(アクセスポイント)の電源が入っているか確認してください。
- WPSボタンを使って設定するためには、カメラと接続するルーター(アクセスポイント)もWPSボタンに対応している必要があります。

準備:

カメラとルーターが有線接続され、カメラの設定ができる状態にしておく。

■ WPS設定(WPSボタンを使って設定する)

カメラのWPSボタンを使って、簡単にネットワーク設定と接続ができます。

ルーター(アクセスポイント)のWPSボタンを押す

- WPSの設定方法はルーター(アクセスポイント)によって異なります。

2 カメラのWPSボタンを約3秒間押す

- ボタンを離すと、無線LANランプが緑点滅します。ランプ点滅後、ランプが消えるまでお待ちください。
- カメラの WPSボタンは約3秒間押してください。押す時間が長過ぎると、登録できません。(無線LANランプが速く点滅します)また、短過ぎても登録できる状態にならないため、登録できません。
- WPSボタンを押す時間が長過ぎたり、短かったために登録できなかった場合は、ACアダプターを抜き差しするか、しばらく待ってから、もう一度手順 1 からやり直してください。

3 カメラから LANケーブルを抜く

- 有線 LAN ランプが消灯し、無線 LAN ランプが点灯することを確認してください。点灯しない場合は、手順 2 からやり直してください。
- カメラで観測されている映像が表示されているか確認してください。
- 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。無線接続の場合は LAN ケーブルを抜いてください。

お知らせ

- 「ネットワークタイプ」で「アドホック」を選ぶことができます。

■ WPS設定（画面を使って設定する）

WPSボタンを使わないネットワーク設定をします。

1 「無線LAN」メニューから「無線接続」の「有効」を選ぶ

2 WPSの接続方法を選ぶ

WPS

- PINコード：　00660518
- ボタン方式：　PBC実行
- PIN方式：　レジストラ SSID：　PIN実行

● お使いの用途に応じたタイプを選んでください。

項目名	設定・お知らせ
ボタン方式 PBC 形式の接続を行います。PBC 対応の無線アクセスポイントの場合にお使いください。	**1** **「PBC実行」をクリックして、PBC接続状態にする** **2** **無線アクセスポイントの「PBC実行」ボタンを押して、WPS接続を行う** ● 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。もう一度接続を行ってください。
PIN方式 PINコードを使った接続を行います。PINコード対応の無線アクセスポイントの場合にお使いください。	**1** **「PINコード」の欄に表示された数値を無線アクセスポイントの入力欄に入力する** **2** **無線アクセスポイントのSSIDを確認する** **3** **「レジストラSSID」の欄にSSIDを入力する** **4** **「PIN 実行」をクリックする** **5** **無線アクセスポイントのPIN接続ボタンをクリックして、WPS接続を行う** ● PIN（Personal Identification Number：個人識別番号）とは、機器を識別するために使われる認証パスワードのことです。

3 カメラから LANケーブルを抜く

● カメラで観測されている映像が表示されているか確認してください。
● 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。LANケーブルを抜かないと、無線機能は動作しません。

■ 通常設定（手動で設定する）

SSID※などを手動で入力して、接続や設定を行います。お使いのルーター(アクセスポイント)がWPSに対応していない場合は、こちらの操作でネットワーク接続を行ってください。

- カメラと接続するアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- お使いのアクセスポイントの無線 LAN 設定情報が必要です。設定内容を確認して、以下の表にご記入ください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

準備：

カメラとルーターが有線接続され、カメラの設定ができる状態にしておく。

アクセスポイントの無線 LAN 設定内容

	名称	アクセスポイントの設定内容
WEPのとき	SSID(ESSID)	
	WEP キーの長さ	
	認証方式	
	デフォルトキー	
	WEP キー	

	名称	アクセスポイントの設定内容
WPA-PSK/ WPA2-PSK のとき	SSID(ESSID)	
	認証方式	
	暗号化	
	WPA 共有キー	

- ルーター(アクセスポイント)のメーカーによっては、WEPキーなどの名称が異なる場合があります。詳しくは、ルーター(アクセスポイント)の説明書をお読みください。
- 接続方法がわからないときは、ルーター(アクセスポイント)の説明書をお読みください。

1 「無線LAN」メニューから「無線接続」の「有効」を選ぶ

2 「使用可能ネットワーク」の「情報再取得」をクリックする

パソコンでカメラの設定をする(続き)

3 接続したいアクセスポイントを選び、「接続」にチェックを入れる

- アクセスポイントの無線 LAN 情報が自動的に入力され、表示されます。

4 以下の項目を入力する

WEPのとき

1 「SSID」、「認証」を確認する

- 「SSID」は 43 ページの手順 2 で選んだものが表示されます。
- 「認証方式」で「オープン」のときは「Open System」※、「シェアード」のときは「Shared Key Syetem」を選びます。
  ※「Open System」を選んだときは、「暗号タイプ」で「WEP」を選んでください。

2 「WEPキーの長さ」を選ぶ

- 「アクセスポイントの無線 LAN 設定内容」(⇨ 43) で確認した「WEP キーの長さ」と一致するものを選んでください。

3 「WEPキーの種類」を選ぶ

4 「デフォルトキー」を選ぶ

- 「アクセスポイントの無線LAN設定内容」(⇨ 43) で確認した「デフォルトキー」と一致するものを選んでください。

5 「WEPキー」を入力する

- 「アクセスポイントの無線 LAN 設定内容」(⇨ 43) で確認した「WEP キー」を入力してください。

WPA-PSK/WPA2-PSK のとき

1 「SSID」、「認証」、「暗号タイプ」を確認する

- 「SSID」は 43 ページの手順 2 で選んだものが表示されます。
- 「アクセスポイントの無線 LAN 設定内容」(⇨ 43) で確認した「認証方式」を「認証」で、「暗号化」を「暗号タイプ」で、それぞれ一致するものを選んでください。

2 「WPA共有キー」を入力する

- 「アクセスポイントの無線 LAN 設定内容」(⇨ 43) で確認した「WPA 共有キー」を入力してください。

5 「適用」をクリックする

6 カメラからLANケーブルを抜く

- カメラで観測されている映像が表示されているか確認してください。
- 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。LANケーブルを抜かないと、無線機能は動作しません。

ダイナミックDNS

本機(カメラ)は「PlanexTV」、「CyberGate DDNS」、「DynDNS」のダイナミックDNSサービスに対応しています。ご契約のインターネット接続業者より、固定インターネットIP アドレスを割り当てられていないときは、お出かけ先でカメラの映像を確認する場合にダイナミックDNS機能を利用することができます。

お出かけ先で使う場合に必要な設定です。※お出かけ先でお使いにならない場合は、この設定は必要ありません。

※お出かけ先で使う場合は、さらにルーターの設定(ポート転送)が必要です。(⇨ 82)

準備:

● CyberGate DDNS またはDynDNS をお使いの場合は、あらかじめお使いになるサービスの登録を済ませてください。(⇨ 90) PlanexTVをお使いになる場合は、あらかじめ登録する必要はありません。

1 「ダイナミックDNS」メニューから「DDNS機能」の「有効」を選ぶ

2 「プロバイダ」を選ぶ

PlanexTV	初期設定です。 ● PlanexTV は、ユーザー登録がなくても、使いたいアドレスを入力するだけで、すぐにお使いいただけるサービスです。
CyberGate DDNS	あらかじめ登録が必要です。(⇨ 90)
dyndns.org	あらかじめ登録が必要です。(⇨ 90)

3 「ホスト名」を入力する

手順 2 で PlanexTVを選んだ場合	任意のホスト名(半角英数字)を入力してください。
手順 2 で CyberGate DDNS を選んだ場合	CyberGate DDNS で登録したサブドメイン名を入力し、右のメニューから登録したドメイン名を選んでください。
手順 2 で dyndns.org を選んだ場合	DynDNSで登録したホスト名を入力してください。

4 「ユーザー名」を入力する

● 手順 2 で「dyndns.org」を選んだ場合は、DynDNSで登録したユーザー名を入力してください。

5 「パスワード」が必要な場合は、それぞれのサービスで登録したパスワードを入力する

6 「適用」をクリックする

7 「状態」の「Reload」をクリックし、「DDNS の更新は正常に行われています。」と表示されることを確認する。

● ダイナミックDNSの設定が完了します。

お知らせ

● ダイナミックDNSはサービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

パソコンでカメラの設定をする(続き)

UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)とは、パソコンや家電製品などの機器をネットワークにつなぐだけで、複雑な操作や設定をすることなく相互に連携させる機能のことです。「UPnP機能」を「有効」にしていると、同じローカルネットワーク内にあるすべてのUPnP対応機器はカメラを自動的に検出できます。

- テレビ(ビエラ)と接続する(⇨ 72)、またはブルーレイディスクレコーダー(ディーガ)と接続する(⇨ 77)場合は、「UPnP機能」と「宅内機器連携プロトコル機能」を「有効」にしてください。

■ UPnP

項目名	設定・お知らせ
UPnP機能 同一ネットワーク内にあるUPnP対応機器との連携を設定します。	**「有効」、「無効」** ●「無効」を選ぶと、UPnP対応機器からカメラが検出されなくなります。 ● 初期設定は「有効」です。

■ 宅内機器連携プロトコル

項目名	設定・お知らせ
宅内機器連携プロトコル機能 ビエラ・ディーガとの連携を設定します。	**「有効」、「無効」** ●「無効」を選ぶと、ビエラ・ディーガとの連携は働かなくなります。 ● 初期設定は「有効」です。
センサー検知間隔(秒) センサー検知終了後、次のセンサー検知が働くまでの間隔を選びます。	**「60」、「90」、「120」(秒)** ● 初期設定は「60」です。
宅内機器連携ポジション 宅内機器連携時のパン/チルトの位置を設定します。	**「設定しない」、「1」～「9」** ●「1」～「9」は「プリセットポイントを設定する」(⇨ 37)で設定したプリセットポイントです。 ● パソコンやスマートフォンなどからパン/チルト操作をしたり、ホームポジションに戻した場合、パソコンやスマートフォンでの映像表示終了後、約1分後に設定したポジションに戻ります。 ● 初期設定は「設定しない」です。
電源投入時モード カメラの電源を入れたときや再起動をしたときに登録モードにするか、通常モードにするかを選びます。	**「登録モードに移行する」、「登録モードに移行しない」** ● ビエラ・ディーガでの登録を完了した後は、通常モードにすることをお勧めします。 ● 初期設定は「登録モードに移行する」です。

項目名	設定・お知らせ
機器登録 「登録モード」をクリックすると、5 分間登録モードになります。	**登録モード** カメラをビエラ・ディーガに登録するためのモードです。登録モード時は、センサー検知やディーガでの録画などを行うことはできません。カメラの電源を入れてから約 5 分間は登録モードで動作します。カメラをビエラ・ディーガに登録したあとは、自動的に通常モードに戻ります。複数のビエラ・ディーガに登録する場合は、カメラの電源を入れ直して、カメラを登録モードにしてください。また、登録モード中に登録済みのビエラ・ディーガからカメラにアクセスすると自動的に通常モードに戻ります。 **通常モード** 通常、カメラの映像を見たり操作したりするときは、通常モードで動作します。このモードでは、他の機器にカメラを登録することができません。カメラの電源を入れてから約 5 分後に通常モードになります。電源を入れたあとのモードを、登録モードではなく通常モードに変更することができます。操作については電源投入時モード (⇨ 46) を参照してください。
登録機器一覧 **削除、** **種類、** **MAC アドレス、** **通知** 登録しているビエラ・ディーガの状態を確認します。	●「削除」はカメラに登録したビエラ・ディーガを削除します。ビエラ・ディーガで登録したカメラを削除したい場合は、表示されているビエラ・ディーガを削除してください。 ●「種類」は登録した機器名を表示します。 ●「MACアドレス」は機器のMACアドレスです。MACアドレスの確認方法については、各機器の説明書をお読みください。 ●「通知」は各機器にカメラが登録されているかどうか、表示します。(○:登録されている、×:登録されていない)。登録していても、電源が入っていないと、「×」が表示されます。

パソコンでカメラの設定をする(続き)

動体検知

カメラには対象の動きを感知する「動体検知」の機能があります。カメラが物体の動きを検出すると、そのときの映像を静止画または動画で保存します。
各項目を変更後、「適用」をクリックすると設定されます。
● 保存先はカメラの SD カードです。

動体検知

動体検知機能の基本設定を行います。
お好みの設定を選択したあと、「適用」を選んで、変更してください。

■ 動体検知

項目名	設定・お知らせ
動体検知 動体検知の使用を選びます。	「有効」、「無効」 ● 「無効」を選ぶと、動体検知機能は働かなくなります。 ● 初期設定は「有効」です。
検知間隔 動体検知終了後、次の動体検知が働くまでの間隔を選びます。	「0」、「1」、「3」、「5」、「10」、「15」、「20」、「30」、「45」、「60」(秒) ● 初期設定は「5」(秒)です。

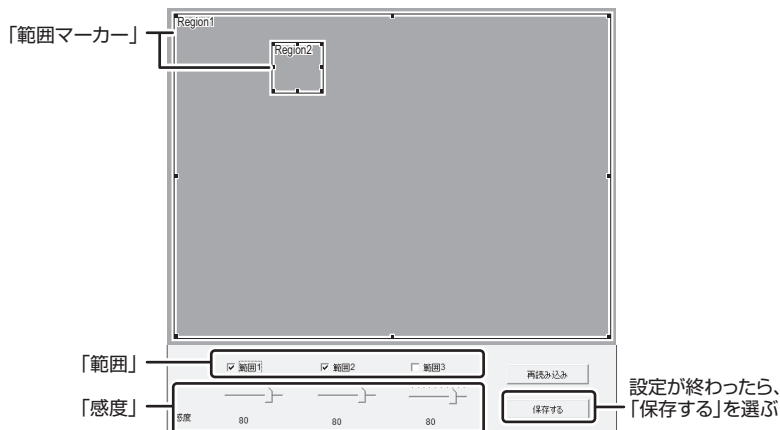
■ メール

項目名	設定・お知らせ
メール送信 動体検知時に撮影した静止画を設定したメールアドレスに送信します。	「行う」、「行わない」 ● 「行わない」を選ぶと、静止画をメールで送信しません。 ● メールの設定については、50ページをお読みください。 ● 初期設定は「行わない」です。
メール送信間隔 動体検知のメール送信後、次のメール送信が行われるまでの間隔を選びます。	「5」、「10」、「15」、「30」、「60」(分) ● 初期設定は「5」(分)です。

■ FTP 転送 /SD カード記録

項目名	設定・お知らせ
記録形式 撮影した静止画または動画のファイル形式を設定します。	**「JPEG」(静止画)、「AVI」(動画)** ● 初期設定は「JPEG」です。
AVI 記録時間 動体検出時に動画を撮影する時間を設定します。	**「1」、「2」、「3」、「4」、「5」(秒)** ● 初期設定は「3」(秒)です。 ●「記録形式」を「JPEG」にした場合は、設定できません。
FTP 転送 動体検知時に撮影した静止画を設定した FTP サーバーに送信します。	**「行う」、「行わない」** ●「行わない」を選ぶと、静止画をFTPサーバーに送信しません。 ● FTPサーバーの設定については、52ページをお読みください。 ● 初期設定は「行わない」です。
SDカード保存 動体検知時に撮影した静止画をカメラの SD カードに保存します。	**「行う」、「行わない」** ●「行わない」を選ぶと、静止画を SD カードに保存しません。 ● カメラにSDカードが挿入されていないと、静止画を保存できません。 ● 初期設定は「行わない」です。

動体検知範囲

観測する画面の範囲内で、動作を検出する範囲を設定することができます。(3 つまで)
画面内の設定された範囲外での動作は検出せず、必要のない静止画が保存されるのを軽減します。
● 初期設定は「範囲 1」が有効になっています。

パソコンでカメラの設定をする（続き）

項目名	設定・お知らせ
範囲 1、 **範囲 2、** **範囲 3** 動体検知の範囲を設定します。	**1　設定したい「範囲」をクリックして、チェックを入れる** **2　カメラ画面に表示された範囲マーカーを動かして、設定したい範囲を決める** **3　「保存する」をクリックし、設定を有効にする** ● 動体検知を有効にする範囲を設定します。 ● 範囲マーカーは拡大・縮小が可能です。マウスのドラッグで調整してください。
感度 動体検知の感度を設定します。	「10」～「100」（10 段階） ● 数値が大きいほど感度が高く、細かな動きも検出します。 ● 「範囲」で設定した範囲ごとに設定できます。

メール設定

メール送信やメールサーバーのアドレス設定を行います。

項目名	設定・お知らせ
宛先メールアドレス 動体検知が働いたときに、メールを送信する宛先を設定します。	● アドレスの間に「;」（セミコロン）を入力すると、複数のメールアドレスに送信することができます。
メールサーバ メール送信に使用するサーバーを選びます。	**「PlanexTV を使う」、「指定したサーバを使う」** ● 初期設定は「PlanexTV を使う」です。 ● PlanexTVは、プラネックスコミュニケーションズ株式会社が運営する、動体検知のメール送信専用のサーバーです。メールサーバーの設定を行わなくても、送り先のメールアドレスを設定するだけで、メールが配信されるようになります。 ● 「PlanexTVを使う」を選んだときは、送り先のメールアドレス以外の項目は自動で設定されるため、入力できません。 ● 「指定したサーバを使う」を選んだときは、各項目を入力してください。
メール件名 送信メールの件名を設定します。	● 件名は半角英数字で入力します。（全角のひらがなやカタカナ、漢字は使用できません） ● カメラからのメールであることがわかるような件名にすることをお勧めします。 ● 初期設定は「Motion Detection Notification」です。

項目名	設定・お知らせ
SMTPサーバ IP アドレスまたは SMTP サーバーのホスト名を入力します。	●SMTPサーバーとは、相手にメールを送信するサーバーです。 ●わからない場合は、メールソフト(Outlook、Outlook Expressなど)でお使いのSMTPサーバーをご確認いただくか、ネットワーク管理者やインターネット接続業者にお問い合わせください。
SMTPポート SMTP ポート番号を入力します。	●初期設定は「25」です。
差出人メールアドレス 送信メールの差出人のアドレスを設定します。	●カメラが利用するメールアドレスです。上記のSMTPサーバーに対応したメールアドレスを設定します。 ●**不明の送信者から送られたメールを受信拒否するメールサーバーもあります。ここにはお客様ご自身や、他の実在するメールアドレスを入力することをお勧めします。**
SMTP認証 SMTPサーバーの認証要求の設定をします。	**「有効」、「無効」** ●初期設定は「無効」です。 ●SMTPサーバーによっては、送信者がメールを送る前に認証を必要とする場合があります。お使いのSMTPサーバーが認証を必要とする場合は、「有効」を選んでください。 ●わからない場合は、メールソフト(Outlook、Outlook Expressなど)でお使いのSMTPサーバーをご確認いただくか、ネットワーク管理者やインターネット接続業者にお問い合わせください。
ユーザー名、パスワード お使いの SMTP サーバーが認証を要求したときに使用します。	●お使いのSMTPサーバーが使用時に認証を要求したときのSMTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。
POP3 before SMTP 受信メール(POP3)サーバーの認証要求の設定をします。	**「有効」、「無効」** ●初期設定は「無効」です。 ●POPサーバーによっては、メールを送る前に、メール受信(POP3)でIDとパスワードで認証を行い、認証を得られた利用者端末の IP アドレスからの送信を可能とするサーバーもあります。お使いのPOPサーバーが認証を必要とする場合は、「有効」を選んでください。
POP3サーバ お使いになる受信メール(POP3)サーバーを設定します。	●お使いになる受信メール(POP3)サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力してください。
POP3ポート、 **ユーザー名、パスワード** お使いになる受信メール(POP3)サーバー設定値を入力します。	●お使いになる受信メール(POP3)サーバーのポート番号、ユーザー名、パスワードを入力してください。 ●「POP3ポート」の初期設定は「110」です。

設定完了後、「テストメールを送信」をクリックすると、設定したアドレスにメールを送信します。送られたメールを確認し、設定した内容に問題がないか、ご確認ください。

パソコンでカメラの設定をする(続き)

FTP設定

FTPサーバーの設定値を設定します。FTP サーバーとは、FTP(File Transfer Protocol:ファイル転送プロトコル)を利用してファイルの送受信を行うサーバーのことです。メールなどでの保存よりも、大量のデータを保存したいときなどにお使いください。

項目名	設定・お知らせ
FTPサーバ お使いになる FTP サーバーを設定します。	● お使いになるFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力してください。
FTPポート、ユーザー名、パスワード お使いになる FTP サーバーの設定値を入力します。	● お使いになるFTPサーバーのポート番号、ユーザー名、パスワードを入力してください。 ● 「FTP ポート」の初期設定は「21」です。
リモートフォルダ FTPサーバー上のリモートフォルダー名を設定します。	● 何も設定していない状態だと、アップロードされた画像はすべて FTP サーバーのルートディレクトリに保存されます。 ● どのフォルダーを使えばよいかはFTPサーバーの管理者にお問い合わせください。
パッシブモード パッシブモードの設定を行います。	**「有効」、「無効」** ● 「有効」を選ぶと、ファイル送信にパッシブモードを使います。 ● FTPサーバーによっては、パッシブモードを要求される場合があります。わからない場合は、FTPサーバーの管理者にお問い合わせください。 ● 初期設定は「有効」です。

設定完了後、「テストファイルの送信」をクリックすると、設定したFTPサーバーににファイルを送信します。送られたファイルを確認し、設定した内容に問題がないか、ご確認ください。

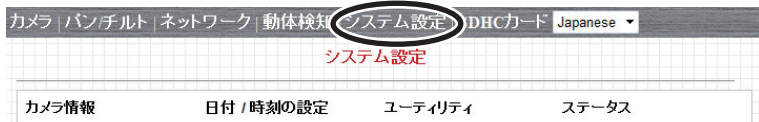
SDカード設定

ファイルをSDカードに保存するときは、ファイル名と保存先フォルダーを設定することができます。

項目名	設定・お知らせ
上書き録画機能 SDカードの容量がいっぱいになったときのデータ保存についての設定をします。	**「有効」、「無効」** ● 「有効」を選ぶと、SD カードの容量がいっぱいになったときに古いファイルから上書きします。 ● 「無効」を選ぶと、SD カードの容量がいっぱいになった時点で録画を停止します。 ● 初期設定は「有効」です。

項目名	設定・お知らせ
ファイル名のプレフィックス ファイル名の頭に付く文字列を入力します。	●プレフィックスは半角英数字で最大16文字まで入力できます。 ●ここで入力した文字列が順序番号の前に自動入力されます。 例:「Motion」と入力する → Motion_001.jpg など ●初期設定は「Motion」です。
保存先フォルダ カメラが撮影した画像や映像を保存するフォルダーを設定します。	●保存先フォルダは半角英数字で最大16文字まで入力できます。 ●初期設定は「record」です。

システム設定

カメラのパスワードを変更したり、日付や時刻の設定ができます。
各項目を変更後、「適用」をクリックすると設定されます。

カメラ情報

カメラの名前やパスワードを変更します。

項目名	設定・お知らせ
カメラ名 カメラの名前を設定します。	●同じネットワーク上に複数のカメラが存在するときは、ここで入力したカメラ名で識別します。 ●カメラ名は半角英数字で入力します。(全角のひらがなやカタカナ、漢字は使用できません) ●初期設定は「DY-NC10」です。
パスワード、パスワードの確認 ユーザー名「admin」のパスワードを入力します。	●ブラウザー設定画面にログインするときに必要なパスワードです。ユーザー名は「admin」を入力してください。 ●「パスワード」を入力後、入力ミス防止のため、「パスワードの確認」で再入力してください。 ●初期設定は「admin」です。 ●セキュリティー保護のため、定期的にパスワードの変更をお勧めします。

パソコンでカメラの設定をする(続き)

日付/時刻の設定

カメラに設定された日付や時刻を変更します。

- 「PCの時刻と取得」をクリックすると、カメラと接続しているパソコンの日付と時刻に設定します。
- NTPサーバーを使用しない場合でも、同一ネットワーク内にディーガが接続されていると、ディーガの時刻に合わせます。

項目名	設定・お知らせ
日付 / 時刻の表示 設定した日付と時刻を表示します。	**「開始」、「停止」** ●「開始」を選ぶと、カメラの映像の左上に日付と時刻が表示されます。「停止」を選ぶと、日付と時刻は表示されません。 ● 初期設定は「停止」です。
手動設定する カメラの日付と時刻を手動で設定します。	● 形式は「西暦/月/日　時/分/秒」です。 例: 2011 年 1 月 11 日 → 2011/01/11 PM 9:24:30 → 21:24:30
NTP サーバを使用する カメラの日付と時刻を NTP サーバー※を使って自動で設定します。	● カメラがインターネットに接続されていれば、NTPサーバーから自動的に日付と時刻を取得して、設定します。
NTP サーバ NTP サーバー※の IP アドレスかホスト名を入力します。	● 初期設定は「pool.ntp.org」です。 ● ご契約のインターネット接続業者にNTPサーバーがあるときは、IP アドレスまたはホスト名については、ご契約のインターネット接続業者にお問い合わせください。
タイムゾーン タイムゾーンを設定します。	● お使いの地域のタイムゾーンを選んでください。 ● 初期設定は「(GMT+09:00) Japan」です。
サマータイムを使用する サマータイムを設定します。	**「開始」、「停止」** ●「開始」を選ぶと、タイムサーバーより取得した時間を各国のサマータイムに合わせて変更して表示します。「停止」を選ぶと、サマータイムは表示されません。 ● 初期設定は「停止」です。

※ NTP とは、Network Time Protocol の略で、ネットワークに接続されている機器が持つ時計を正しい時刻へ同期するための通信プロトコルです。

ユーティリティ

ファームウェアの更新や設定の初期化をします。

項目名	設定・お知らせ
ファームウェアのアップデート カメラのファームウェアをアップデートします。	● アップデートファイルを選択して、「アップデート」をクリックしてください。(⇨ 93)
工場出荷時の設定に戻す 「リセット」をクリックするとカメラのすべての設定を工場出荷設定に戻します。	● 工場出荷設定に戻すと、設定は元に戻す(「工場出荷時の設定に戻す」を行う前の設定に戻す)ことはできません。実行前によくご確認ください。 ● RESETボタンでの初期化と同じです。(⇨ 10)
カメラの再起動 カメラの動作機能のリセットをします。	● カメラの動作が遅いときや、動作に異常が見られるときに試してみてください。
LED の設定 カメラのランプをすべて消灯またはすべて点灯に切り替えることができます。	—

ステータス

カメラの情報を表示します。以下の項目を確認することができます。

システム

- ファームウェアバージョン
- 稼働時間
- システム時刻

LAN

- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- DNS サーバ
- MAC アドレス
- HTTP ポート

PPPoE

- 接続状態
- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- DNS サーバ

ソフトウェア情報

パソコンでカメラの設定をする（続き）

SDHCカード

SDカードの容量を確認したり、カードの残り容量が少なくなったときにメールでお知らせしたりすることができます。

状態

SDカードの容量（全容量、使用容量、空き容量）を確認します。

容量警告

画像や映像を保存するカードの残り容量が少なくなってきたときに、カメラからメールでお知らせするように設定できます。（容量警告メール）

- 「動体検知」の「メール設定」(⇨ 50) でメールの設定がお済みの場合は、「メール設定をコピー」で「メール件名」と「残り容量」以外は同じ設定を入力することができます。

お好みの設定を選択した後、「適用」を選んで、変更してください。

項目名	設定・お知らせ
メール件名 「容量警告メール」の件名を入力します。	● 件名は半角英数字で入力します。（全角のひらがなやカタカナ、漢字は使用できません） ● カメラからのメールであることがわかるような件名にすることをお勧めします。 ● 初期設定は「[SD Card Space Alarm]」です。
残り容量 予備として使用せずに残しておくカードの容量を選びます。	**「1」、「5」、「10」、「15」、「20」、「25」、「30」(MB)** ● 初期設定は「30」(MB)です。

- 「メール件名」、「残り容量」以外の項目は「動体検知」の「メール設定」(⇨ 50) をお読みください。
- 設定完了後、「テストメールを送信」をクリックすると、設定したアドレスにメールを送信します。送られたメールを確認し、設定した内容に問題がないか、ご確認ください。

iPhone・スマートフォンで使う

iPhoneの専用アプリでカメラの映像を見る

iPhoneをお使いの場合は、専用のアプリケーション「PCI VIEWER」でカメラの映像を見ることができます。

- iPod touch でも「PCI VIEWER」をお使いになれます。
- 「PCI VIEWER」はプラネックスコミュニケーションズ株式会社の製品です。内容については、プラネックスコミュニケーションズ株式会社サポートセンターへお問い合わせください。(⇒ 25)

1 App Store から「PCI VIEWER」をインストールする

2 「PCI VIEWER」を起動する

3 「New」を選び、必要な項目を入力して、「OK」を選ぶ

Name:　区別しやすいようなカメラ名に設定できます。

IP Address:　ダイナミック DNS で登録したホスト名を入力します。(⇒ 45)
例：プロバイダに「PlanexTV」を選択し、ホスト名を「test」と入力した場合「test.cs.planex.tv」を入力します。
（カメラの IP アドレスを直接入力することも可能です。）

Password:　カメラのパスワードです。変更しているときは、変更したものを入力してください。

Port:　カメラのポート番号です。（初期設定は「80」です）変更している場合は、変更したものを入力してください。

FPS:　高いほど動きがなめらかになりますが、十分な速度が得られない環境の場合は、動作が不安定になります。

QVGA/VGA:　映像のサイズです。（VGA が大きく、QVGA が小さい映像になります）

4 カメラの映像が映っていることを確認する

- 映像をフリックすると、その方向に合わせてカメラがパン/チルトします。
- 終了するときは「Disconnect」を選んでください。
- アンインストールについては、iPhoneの説明書をお読みください。

■ スマートフォン・iPhoneのブラウザーでカメラの映像を見る

iPhone やスマートフォンなどのブラウザーを使って、カメラの映像を見ることもできます。

- ブラウザーでカメラの映像を見る方法、対応している機種については、サポートサイトをご参照ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html

お知らせ

- ダイナミック DNS サービスに登録してから、実際に登録したアドレスが使えるようになるまで時間がかかることがあります。また、インターネット環境の変化により、ダイナミック DNS で登録したアドレスにアクセスできるようになるまで時間がかかることがあります。お出かけ先でカメラの映像が見られないときは、しばらく時間をおいてから試してみてください。
- 「PCI VIEWER」はサービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

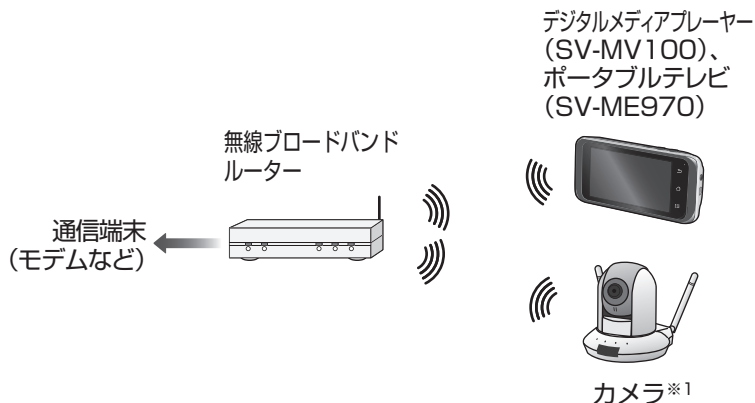
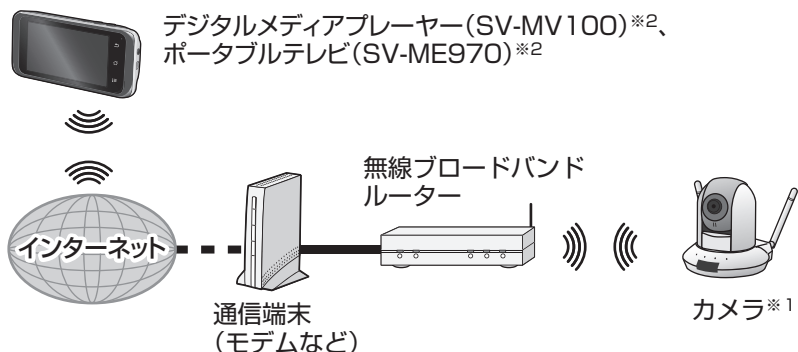
デジタルメディアプレーヤーなどで使う

当社製デジタルメディアプレーヤー(SV-MV100)やポータブルテレビ(SV-ME970)専用の設定アプリを使ってカメラをネットワークに接続することができます。また、インターネットを介してお出かけ先からカメラの映像を見たりすることができます。

当社製デジタルメディアプレーヤー(SV-MV100)またはポータブルテレビ(SV-ME970)をお使いのお客様は、最新のファームウェアにアップデートしてからお使いください。
ファームウェアの更新方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

「簡単カメラ設定」アプリ
デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでカメラの設定をするための専用アプリです。
詳しくは 60 ページをお読みください。

「PCI_VIEWER」アプリ
デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでカメラの映像を見るための専用アプリです。
詳しくは 70 ページをお読みください。

■ 宅内で使う場合

■ お出かけ先で使う場合

※ 1 カメラを無線で接続する場合は、付属のアンテナと無線ブロードバンドルーターをお使いください。（⇒ 21）

※ 2 お出かけ先で接続する場合は、公衆無線LANサービスを提供している場所でお使いください。

「簡単カメラ設定」アプリでネットワーク接続する

簡単カメラ設定

「簡単カメラ設定」アプリを使うと、デジタルメディアプレーヤーなどの画面を見ながら、順番に設定をしていくだけで、簡単にネットワークに接続することができます。
ここでは、左のアイコンのアプリを使います。

- デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビが最新のバージョンになっているか確認してください。(⇨ 58)

■ 「簡単カメラ設定」アプリを使った設定の流れ

「簡単カメラ設定」アプリはこれらの設定を順番に行っていきます。

カメラとルーターの接続は?(ネットワーク接続タイプ)

- 無線LAN接続
  - お使いのルーターは?(⇨ 61)
    - WPS対応 → WPSボタンで接続(⇨ 62)
    - WPS非対応 → デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビで設定する(⇨ 64)
- 有線接続(⇨ 66)

↓

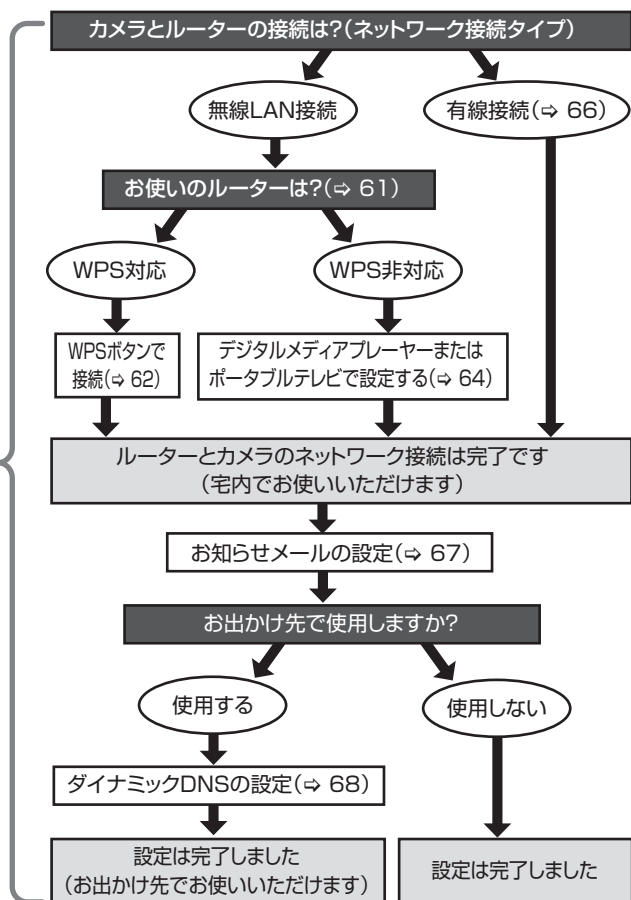
ルーターとカメラのネットワーク接続は完了です
(宅内でお使いいただけます)

↓

お知らせメールの設定(⇨ 67)

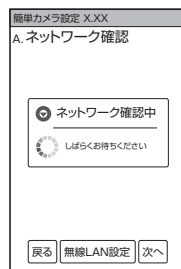
↓

お出かけ先で使用しますか?

- 使用する → ダイナミックDNSの設定(⇨ 68) → 設定は完了しました
(お出かけ先でお使いいただけます)
- 使用しない → 設定は完了しました

ネットワーク接続のタイプを選ぶ

まず、ネットワーク接続のタイプを選びます。

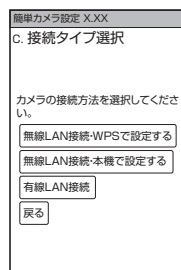
1 「簡単カメラ設定」アプリを起動する

- アプリに関する説明情報が画面に表示された場合は、「OK」を選び、次に進んでください。
- アプリが起動すると、自動的にネットワークへの接続状況を確認します。
- 「ネットワークエラー」の表示が出た場合は、「無線 LAN 設定」を選んで、無線LAN接続の設定をしてください。

2 カメラにACアダプターを接続して、「次へ」を選ぶ

- AC アダプターの接続については、22 ページをお読みください。

3 カメラとルーター(アクセスポイント)のネットワーク接続のタイプを選ぶ

- お使いの環境に応じた設定を選んでください。

項目	説明
無線LAN接続・WPSで設定する	WPSボタンを使って無線LAN接続設定します。
無線LAN接続・本機で設定する	デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビの画面操作で無線 LAN 接続します。
有線LAN接続	LAN ケーブルで接続します。

「無線LAN接続・WPSで設定する」を選んだ場合は
「WPSボタンで簡単に設定する(無線LAN接続)」(⇨ 62) へ

「無線LAN接続・本機で設定する」を選んだ場合は
「手動でネットワーク接続する(無線LAN接続)」(⇨ 64) へ

「有線LAN接続」を選んだ場合は
「有線 LAN で接続する」(⇨ 66) へ

カメラをネットワーク接続する

WPS ボタンを使って、無線 LAN 接続します。

WPSボタンで簡単に設定する(無線LAN接続)

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)がWPSボタンに対応している場合は「無線 LAN 接続･WPS で設定する」を選ぶと、簡単に設定することができます。

準備

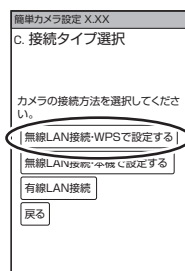
- アンテナを取り付けておく。(⇨ 21)
- カメラに LAN ケーブルが接続されていたら、外しておく。

1 「ネットワーク接続のタイプを選ぶ」(⇨ 61)の手順３で「無線LAN接続･WPSで設定する」を選ぶ

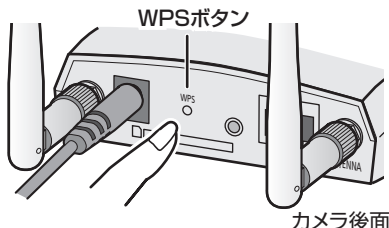
- 画面にWPSボタンで設定するための指示が表示されます。

2 ルーターのWPSボタンを押す

- ルーターのWPSボタンの位置については、ルーターの説明書をご覧ください。

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)

3 カメラのWPSボタンを約３秒間押す

カメラ後面

- ボタンを離すと、無線LANランプが緑点滅します。ランプ点滅後、ランプが点灯するまでお待ちください。
- カメラのWPSボタンは約３秒間押してください。押す時間が長過ぎると、登録できません。(無線LANランプが速く点滅します)また、短過ぎても登録できる状態にならないため、登録できません。
- WPSボタンを押す時間が長過ぎたり、短かったために登録できなかった場合は、ACアダプターを抜き差しするか、しばらく待ってから、もう一度手順 2 からやり直してください。
- 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。無線接続の場合は LAN ケーブルを抜いてください。

4 「次へ」を選ぶ

- 同じネットワーク内のカメラのカメラ名と IP アドレスが表示されます。
- 設定したいカメラが表示されていないときは、「再検索」を選んでください。

5 接続設定したいカメラを選ぶ

- 選択したカメラ名、パスワードが表示されます。変更したい場合は、それぞれを選び、変更してください。
- IP アドレスには、使用されていない固定 IP アドレスを自動で割り当てます。
- お使いの環境に応じ、必要に応じて設定を変更してください。

6 内容を確認し、「次へ」を選ぶ

7 カメラの映像を確認する

- 正しく表示されているかを確認します。映像が確認できないときは、もう一度やり直してください。

8 「簡単カメラ設定」アプリを終了する

- カメラの動体検知機能が働いたときにメールでお知らせする「お知らせメール」と、お出かけ先でお使いになる「お出かけ先での使用」を設定して、「簡単カメラ設定」アプリを終了させてください。
  「お知らせメール」と「お出かけ先での使用」について、詳しくは以下をご覧ください。

  「お知らせメール」を設定する場合は
  「お知らせメールの設定をする」(⇨ 67) へ

  お出かけ先でお使いになる場合は
  「お出かけ先で見るための設定をする」(⇨ 68) へ

以上の設定で、宅内でお使いいただけます。

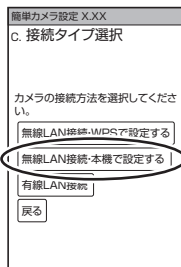
手動でネットワーク接続する(無線LAN接続)

手動で無線 LAN 接続します。

準備

アンテナを取り付けておく。(⇨ 21)

1 「ネットワーク接続のタイプを選ぶ」(⇨ 61)の手順３で「無線LAN接続・本機で設定する」を選ぶ

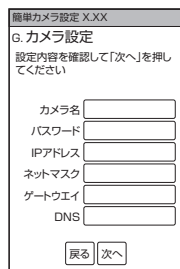
- 画面に LAN ケーブルを接続する指示が表示されます。

簡単カメラ設定 X.XX
C. 接続タイプ選択
カメラの接続方法を選択してください。
無線LAN接続・WPSで設定する
無線LAN接続・本機で設定する
有線LAN接続
戻る

2 カメラとルーターをLANケーブルで接続し、「次へ」を選ぶ

- LAN ケーブルの接続については、20 ページをお読みください。
- 同じネットワーク内のカメラのカメラ名とIPアドレスが表示されます。
- 設定したいカメラが表示されていないときは、「再検索」を選んでください。

3 接続設定したいカメラを選ぶ

- 選択したカメラ名、パスワードが表示されます。変更したい場合は、それぞれを選び、変更してください。
- IP アドレスには、使用されていない固定 IP アドレスを自動で割り当てます。
- お使いの環境に応じ、必要に応じて設定を変更してください。

4 内容を確認し、「次へ」を選ぶ

5 暗号キー(パスワード)を入力し､｢次へ｣を選ぶ

- セキュリティー保護のため､無線の暗号化をお勧めします。
- 無線が暗号化されていない場合は､暗号キー(パスワード)の入力は不要です。｢次へ｣を選んでください。
- デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビが接続しているルーターの情報(セキュリティーの種類とSSID)が表示されます。
- 暗号キー(パスワード)について､詳しくは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)を設定した管理者にご確認ください。

6 カメラとルーターから LAN ケーブルを抜き､｢次へ｣を選ぶ

- 無線LANランプが点灯して､無線 LAN に切り替わります。
- 有線接続と無線接続はどちらかしか働きません。LANケーブルを抜かないと､無線機能は動作しません。

7 カメラの映像を確認する

- 正しく表示されているかを確認します。映像が確認できないときは､もう一度やり直してください。

8 ｢簡単カメラ設定｣アプリを終了する

- カメラの動体検知機能が働いたときにメールでお知らせする｢お知らせメール｣と､お出かけ先でお使いになる｢お出かけ先での使用｣を設定して､｢簡単カメラ設定｣アプリを終了させてください。
｢お知らせメール｣と｢お出かけ先での使用｣について､詳しくは以下をご覧ください。

｢お知らせメール｣を設定する場合は
｢お知らせメールの設定をする｣(⇨ 67) へ

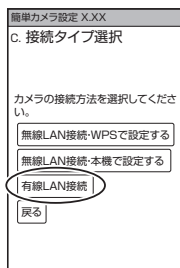
お出かけ先でお使いになる場合は
｢お出かけ先で見るための設定をする｣(⇨ 68) へ

以上の設定で､宅内でお使いいただけます。

有線 LAN で接続する

LAN ケーブルで接続します。

1 「ネットワーク接続のタイプを選ぶ」(⇨ 61) の手順 3 で「有線 LAN 接続」を選ぶ

- 画面に LAN ケーブルを接続する指示が表示されます。

簡単カメラ設定 X.XX
C. 接続タイプ選択
カメラの接続方法を選択してください。
無線LAN接続･WPSで設定する
無線LAN接続･本機で設定する
有線LAN接続
戻る

2 カメラとルーターをLANケーブルで接続し、「次へ」を選ぶ

- LAN ケーブルの接続については、20 ページをお読みください。
- 同じネットワーク内のカメラのカメラ名と IP アドレスが表示されます。
- 設定したいカメラが表示されていないときは、「再検索」を選んでください。

3 接続設定したいカメラを選び、「次へ」を選ぶ

- 選択したカメラ名、パスワードが表示されます。変更したい場合は、それぞれを選び、変更してください。
- IP アドレスには、使用されていない固定 IP アドレスを自動で割り当てます。
- お使いの環境に応じ、必要に応じて設定を変更してください。

4 内容を確認し、「次へ」を選ぶ

5 カメラの映像を確認する

- 正しく表示されているかを確認します。映像が確認できないときは、もう一度やり直してください。

6 「簡単カメラ設定」アプリを終了する

- カメラの動体検知機能が働いたときにメールでお知らせする「お知らせメール」と、お出かけ先でお使いになる「お出かけ先での使用」を設定して、「簡単カメラ設定」アプリを終了させてください。
  「お知らせメール」と「お出かけ先での使用」について、詳しくは以下をご覧ください。

  「お知らせメール」を設定する場合は
  「お知らせメールの設定をする」(⇨ 67) へ

  お出かけ先でお使いになる場合は
  「お出かけ先で見るための設定をする」(⇨ 68) へ

以上の設定で、宅内でお使いいただけます。

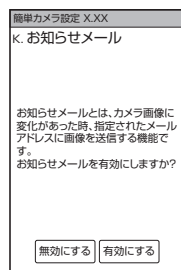
お知らせメールの設定をする

お知らせメールを設定すると、カメラが観測した映像に動きが見られた(動体検知機能が働いた)場合に、指定したメールアドレスに画像を送信します。

1 「簡単カメラ設定」アプリの「お知らせメール」まで設定を進める

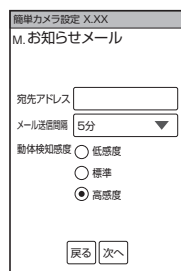
簡単カメラ設定 X.XX
K. お知らせメール
お知らせメールとは、カメラ画像に変化があった時、指定されたメールアドレスに画像を送信する機能です。
お知らせメールを有効にしますか?
無効にする 有効にする

2 「有効にする」を選ぶ

- 「無効にする」を選ぶと、メールでのお知らせはありません。

3 メール送信サーバーとして、「PlanexTV」を使うかどうかを選び、「次へ」を選ぶ

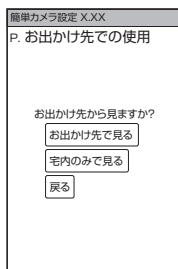
- 「PlanexTV」を使うと、簡単に設定できます。使わない場合は、各設定項目を登録してください。

4 お知らせメールの送り先を入力し、動体検知の間隔と感度を選び、「次へ」を選ぶ

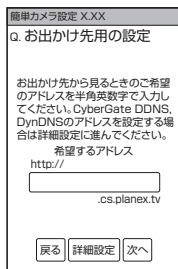
- 右は「PlanexTV」を使う場合の設定画面です。
- 宛先アドレスは、メール送り先のメールアドレスを入力します。
- メール送信間隔は5分、10分、15分、30分、60分から選びます。
- 動体検知感度は低感度、標準、高感度から選びます。
- 「簡単カメラ設定」アプリで動体検知を設定したとき、「範囲」は「範囲 1」を使用します。(⇨ 49)
- 動体検知の設定について、詳しくは 48 ページをご覧ください。
- より詳細な設定をする場合は、パソコンの設定メニューで設定してください。(⇨ 48～53)

5 「次へ」を選び、テストメールを送信する

- 設定後、テストメールが送信されます。エラー表示が出た場合は、宛先アドレスをご確認のうえ、もう一度入力し直してください。

お知らせ

- 「PlanexTV」はプラネックスコミュニケーションズ株式会社の提供するサービスを使用します。
- 設定によっては、お知らせメールが大量に送られてくることがあります。
- 画像が添付されているため、お知らせメールの容量は大きくなります。

お出かけ先で見るための設定をする

お出かけ先でカメラの映像を見るための設定を行います。

1 「簡単カメラ設定」アプリの「お出かけ先での使用」まで設定を進める

2 「お出かけ先で見る」を選ぶ

- 「宅内のみで見る」を選んだ場合　➾ 手順５へ

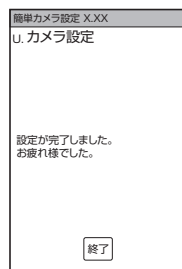
3 ダイナミックDNSで使うためのアドレスを入力し、「次へ」を選ぶ

- ダイナミックDNSはプラネックスコミュニケーションズ株式会社のサービスである PlanexTV を使用します。
- CyberGate DDNS、DynDNSのアドレスを設定する場合は、「詳細設定」を選び、取得しているアドレスを入力してください。
- 問題がなければ、「お出かけ先用アドレスの登録に成功しました。」が表示され、「OK」を選ぶと次の「ルーター設定」の画面になります。
- ご希望のアドレスが使用済みなどで使えないときは、「既に使用されているアドレスのため、登録できません。」が表示されます。その場合は「OK」を選ぶと、もう一度アドレスの入力画面になります。今度は異なるアドレスを入力してください。

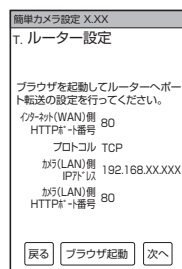
4 「次へ」を選ぶ

- ルーターの設定（ポート転送）を自動で行います。
- お使いの環境によっては、手動でポート転送の設定をする必要があります。その場合は69 ページの「手順４で右の画面が表示された場合は」をお読みください。

5 「終了」を選ぶ

- 「簡単カメラ設定」アプリでの設定が完了します。
- 「簡単カメラ設定」アプリで設定した情報が「PCI VIEWER」アプリに表示されます。

■ 手順 4 で右の画面が表示された場合は

お使いのルーターによっては、右の画面が表示され、自動でルーターの設定ができない場合があります。
その場合は、まず右の画面の内容を以下の表にご記入ください。

項目	設定内容
インターネット(WAN)側 HTTP ポート番号	
プロトコル	
カメラ(LAN)側 IP アドレス	
カメラ(LAN)側 HTTP ポート番号	

ご記入の内容に応じて、お持ちのパソコンでポート転送の設定を行ってください。(⇨ 82)

また、パソコンを使わなくても、デジタルメディアプレーヤー、ポータブルテレビのブラウザーで設定ができます。
右の画面で「ブラウザ起動」を選び、ブラウザーを起動して、パソコンと同様の設定を行ってください。(設定項目や入力については、82ページをご参照ください)

「PCI_VIEWER」アプリでカメラの映像を見る

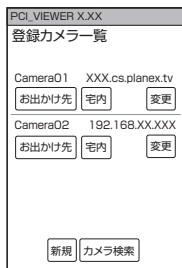
PCI_VIEWER

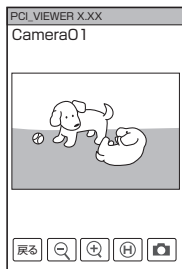
デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでカメラの映像を見るときは、専用の「PCI_VIEWER」アプリを使います。
ここでは、左のアイコンのアプリを使います。

- 「PCI VIEWER」アプリはプラネックスコミュニケーションズ株式会社の製品です。内容については、プラネックスコミュニケーションズ株式会社サポートセンターへお問い合わせください。(⇨ 25)

1 「PCI_VIEWER」アプリを起動する

- アプリに関する説明情報が画面に表示された場合は、「OK」を選び、次に進んでください。
- アプリが起動すると、登録済みのカメラのカメラ名とIPアドレスを表示します。
- 登録されたカメラがないときは、「登録されたカメラはありません」が表示されます。
- 「新規」（新規登録）を選ぶと、カメラを新規登録することができます。
- 「変更」（変更登録）を選ぶと、登録されているカメラ情報を変更することができます。
- 「カメラ検索」を選ぶと、同一ネットワーク内のカメラを検索し、表示します。
- 「カメラ検索」を選び、新しいカメラを選んだ場合、初回使用時はパスワードを入力してください。一度ログインすると、次回からはパスワードが入力不要でお使いいただけます。

PCI_VIEWER X.XX
登録カメラ一覧
Camera01 XXX.cs.planex.tv
お出かけ先 宅内 変更
Camera02 192.168.XX.XXX
お出かけ先 宅内 変更
新規 カメラ検索

2 映像を見たいカメラの「宅内」または「お出かけ先」を選び、カメラの映像を見る

- 動画に音声はありません。
- 映像は実際よりも数秒間、遅延することがあります。
- 操作については、「「PCI_VIEWER」アプリの操作」(⇨ 71)をお読みください。

📖 お知らせ

- デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでは、電池残量が少ない場合やワンセグ起動中などにWi-Fi®がオフになり、無線LANが利用できなくなることがあります。詳しくは、デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビの取扱説明書をお読みください。

設定済みのカメラの映像を見る場合

「簡単カメラ設定」アプリからカメラの設定を行わなくても、以下の手順でカメラ情報を登録することができます。パソコンなどであらかじめ設定されたカメラの映像を見る場合は以下の手順を行ってください。

1 「新規」を選び、必要な項目を入力して、「登録」を選ぶ

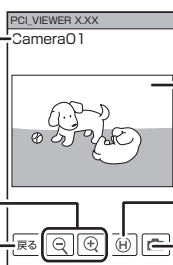
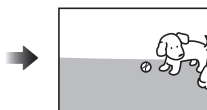
カメラ名: 区別しやすいようなカメラ名に設定できます。
ユーザ: 「admin」を入力してください。
パスワード: カメラのパスワードです。変更している場合は、変更したものを入力してください。
お出かけ先用アドレス: ダイナミック DNS で登録したホスト名を入力します。(⇨ 45)
例: プロバイダに「PlanexTV」を選択し、ホスト名を「test」と入力した場合「test.cs.planex.tv」を入力します。
お出かけ先用ポート番号: カメラのポート番号です。(初期設定は「80」です)
変更している場合は、変更したものを入力してください。
宅内用アドレス: カメラの IP アドレスを入力します。
宅内用ポート番号: カメラのポート番号です。(初期設定は「80」です)
変更している場合は、変更したものを入力してください。

2 手順 1 で登録したカメラの「宅内」または「お出かけ先」を選ぶ

3 カメラの映像が映っていることを確認する

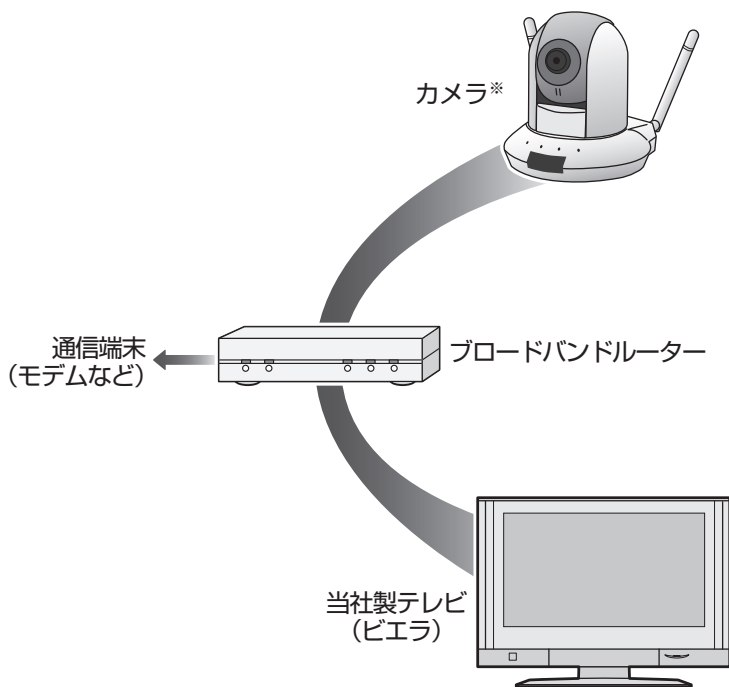
「PCI_VIEWER」アプリの操作

拡大や縮小、静止画の撮影などができます。

- 「スナップショット」はデジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビの SD カードに保存します。カードが挿入されていないと、「スナップショット」を保存できません。

フリックでカメラの向きを変更できます
フリックとは、指で画面を上下または左右にはらう操作です。

右にフリックすると、カメラの向きが左に動きます

テレビ(ビエラ)で使う

カメラと当社製テレビ(ビエラ)(以下**ビエラ**)を同じネットワークに接続すると、テレビでカメラの画像を見ることができます。

● 対応している機種に関しては、95 ページをお読みください。

※ カメラを無線で接続する場合は、付属のアンテナと無線ブロードバンドルーターをお使いください。(⇨ 21)

ビエラにカメラを登録する

- ここでの操作は、ビエラのリモコンで行います。
- カメラに電源を入れてから、約5分以内に登録を行ってください。5分を過ぎると、登録できなくなります。その場合は、ACアダプターを抜き差しして電源を入れ直すか、パソコンで登録モードボタンを押してください。(⇨ 47)

準備:
- カメラとルーターをネットワーク接続する。(⇨ 17 ～ 19、60 ～ 66)
- ビエラがネットワーク接続されているか、ご確認ください。
- お使いのビエラが対応しているか、ご確認ください。(⇨ 95)

1 ビエラのメニューから「設定する」→「初期設定」を選ぶ

2 「設置設定」を選び、「決定」ボタンを 3 秒以上押す

- 登録するビエラによって、操作が異なる場合があります。詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください。

3 「くらし機器設定」→「くらし機器」を選ぶ

4 「くらし機器を使用するに設定しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ

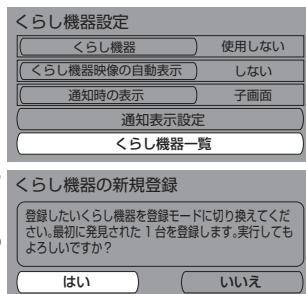
- メッセージを確認したら、「戻る」を押してください。メッセージについては、ビエラの取扱説明書をお読みください。

5 「くらし機器一覧」を選ぶ

6 リモコンのカラーボタンの「緑」を押し、「新規登録」を選ぶ

7 「くらし機器の新規登録」のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ

- カメラがテレビに登録され、ビエラがカメラからの通知を受け取ることができます。(⇨ 76)
- 1 台のビエラに登録できるカメラは 12 台です。
  12台を超えて登録する場合は、登録済みのカメラを削除してから、新しいカメラを登録してください。

ビエラ・ディーガ

テレビ(ビエラ)で使う(続き)

8 リモコンのカラーボタンの「赤」を押し、「ビエラリンク設定」の設定をする

くらし機器一覧　機器登録

機器登録設定　ビエラリンク設定

TVに登録されている くらし機器の一覧です。

	機器名	型番
1	DY-NC10	DY-NC10
2		
3		
4		

- ビエラの「ビエラリンク」メニューにカメラを表示するために登録します。
- 「ビエラリンク」メニューに登録すると、「ビエラリンク」メニューから、いつでもカメラの画像を見ることができます。
- 画面に表示される「機器名」は、カメラの「カメラ名」です。53ページの「カメラ名」で変更することができます。

9 リモコンのカラーボタンの「緑」を押し、「新規登録」を選ぶ

10 「DY-NC10」を選び、「決定」を押す

- カメラが「ビエラリンク」メニューに追加されます。

お知らせ

- 1台のカメラにつき、最大8台のビエラに登録できます。8台を超えて登録する場合はパソコンで「UPnP」の「登録機器一覧」(⇨ 47) から登録を解除したいビエラを削除してください。
- ビエラに複数のカメラを登録する場合は、1 台ずつ登録してください。
- 登録するビエラによって、操作が異なる場合があります。詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリンクについて、詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください。

■ ポータブル地上デジタルテレビに登録する場合は

お使いのポータブル地上デジタルテレビが対応しているか、ご確認ください。(⇨ 95)
ポータブル地上デジタルテレビの取扱説明書も併せてお読みください。

1　スタートメニューから「設定」→「初期設定」を選ぶ

2　「ネットワーク」→「ネットワーク通信設定」を選ぶ

3　「ドアホン・センサーカメラの接続設定」→「ドアホン・センサーカメラ接続」を選ぶ

4　「入」を選び、メッセージを確認する

5　「新規登録」を選び、「する」を選ぶ

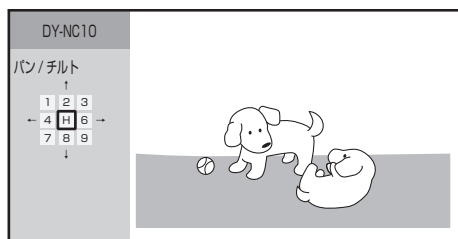
- カメラがポータブル地上デジタルテレビに登録されます。
- 1 台のカメラにつき、最大 5 台のポータブル地上デジタルテレビに登録できます。
- ポータブル地上デジタルテレビに登録はできますが、ビエラリンクでお使いになれません。

カメラの画像をビエラで見る

● ここでの操作は、ビエラのリモコンで行います。

1 ビエラのリモコンの「ビエラリンク」を押す

2 「ビエラリンク」メニューから「DY-NC10」を選ぶ

● カメラの画面が表示されれば、登録は正常に行われています。

● 「▲」、「▼」「◄」、「►」でフォーカスを移動して「決定」を押すと、カメラの向きを変更します。数字ボタンを押すだけでも、カメラの向きを変更できます。（パン/チルトコントロール）
● 「H」を選んで「決定」を押す、または数字の「5」を押すと、ホームポジションに戻ります。

■ テレビに戻るには

各放送ボタン（デジタル、BS、CS）を押してください。

お知らせ

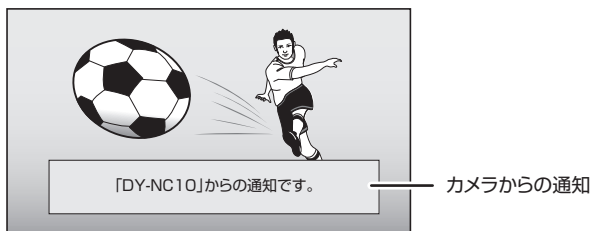
● ビエラで表示される画像は、約 1 秒ごとの静止画です。
● 画像は実際よりも数秒間、遅延します。
● ビエラに複数のカメラを登録している場合は、カメラの画像をマルチ画面で表示できます。マルチ画面を表示するには、ビエラの「ビエラリンク」メニュー画面で「マルチ表示」を選択してください。マルチ画面上でカメラの画像を選ぶと、それぞれのカメラのカメラ画面を表示します。
● ビエラの電源を入れた直後は、すぐにアクセスできないことがあります。約1分待って、操作を行ってください。
● 各機器で画像を同時に参照すると画質が落ちることがあります。

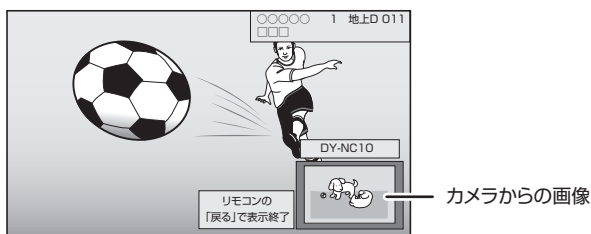
テレビ(ビエラ)で使う(続き)

カメラからの通知を受ける

カメラで動体検知の機能が働いたとき、ビエラに通知が届き、その画像を確認することができます。

- **ここでの操作は、ビエラのリモコンで行います。**

1 カメラから通知メッセージが表示されているときに、「決定」を押す

- 「DY-NC10」はカメラ名です。「カメラ情報」の「カメラ名」(⇨ 53) で変更することができます。

2 カメラからの画像を確認する

■ 元の画面に戻るには

「戻る」を押して、元の画面に戻る

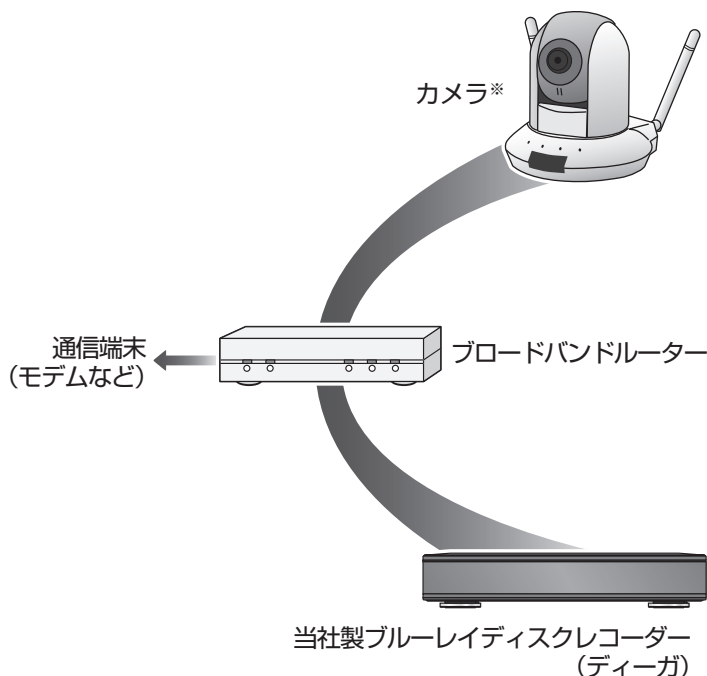
- 「戻る」を押さなくても、一定時間が過ぎると元の画面に戻ります。

お知らせ

- ビエラの機種により、通知メッセージやカメラ画像の表示が異なる場合があります。
- カメラからの通知が表示されない場合は、ビエラのセンサー検知通知が「表示しない」になっていないか確認してください。「表示しない」になっていると、カメラからのセンサー通知がビエラに表示されません。詳しくは、ビエラの取扱説明書を参照してください。
- ビエラの「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、カメラから通知があったときに、自動的にカメラ画像が表示されます。
- ディーガで録画中はビエラで通知を受けることができません。
- 「動体検知」の設定を変更する場合は、パソコン (⇨ 48) またはデジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビの「簡単カメラ設定」アプリ (⇨ 67) で行ってください。

レコーダー（ディーガ）で使う

カメラとドアホン･センサーカメラ対応の当社製 DVD レコーダーおよびブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）（以下**ディーガ**）を同じネットワークに接続すると、留守中のカメラに映っている映像を録画して、あとから確認することができます。

● 対応している機種に関しては、95 ページをお読みください。

※ カメラを無線で接続する場合は、付属のアンテナと無線ブロードバンドルーターをお使いください。(⇨ 21)

お知らせ

● ディーガで録画中は、他の機器でカメラの映像を見ることができません。また、他の機器でカメラの映像を見ているときは、ディーガで録画できません。ブラウザーで視聴しているときは、ブラウザーを閉じてください。

レコーダー(ディーガ)で使う(続き)

ディーガにカメラを登録する

- ここでの操作は、ディーガのリモコンで行います。
- カメラに電源を入れてから、約5分以内に登録を行ってください。5分を過ぎると、登録できなくなります。その場合は、ACアダプターを抜き差しして電源を入れ直すか、パソコンで登録モードボタンを押してください。(⇨ 47)

準備:

- カメラとルーターをネットワーク接続する。(⇨ 17 ～ 19、60 ～ 66)
- ディーガがネットワーク接続されているか、ご確認ください。
- お使いのディーガが対応しているか、ご確認ください。(⇨ 95)

1 ディーガのメニューから、「初期設定」を選ぶ

- 登録するディーガによって、操作が異なる場合があります。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

2 「ネットワーク通信設定」→「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選ぶ

3 「ドアホン・センサーカメラ接続」→「入」を選ぶ

「センサーカメラ録画」が「する」に設定されていないと、録画できません

4 「<新規登録>」を選ぶ

5 「する」を選ぶ

- カメラがディーガに登録されます。

お知らせ

- 1台のカメラにつき、1台のディーガに登録できます。新しいディーガを登録したい場合は、パソコンで「UPnP」の「登録機器一覧」(⇨ 47) から登録を解除したいディーガを削除してください。
- ディーガに複数のカメラを登録する場合は、1 台ずつ登録してください。
- 登録が正しく完了したら、「登録が完了しました」と表示され、ディーガの表示窓に「⌂」が点灯します。
- 「機器一覧」の「機器のページ」から、カメラの映像を確認することができます。

録画したカメラの映像を見る

カメラの動体検知で検知した映像が、ディーガには自動で録画されます。

● **ここでの操作は、ディーガのリモコンで行います。**

準備:

動体検知機能 (⇨ 48) を働かせ、動画をディーガに録画しておく。

1 ディーガのメニューから、「その他の機能へ」を選ぶ

● 登録するディーガによって、操作が異なる場合があります。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

2 「ドアホン・センサーカメラ映像」を選ぶ

3 リモコンのカラーボタンの「緑」(センサーカメラ)を押す

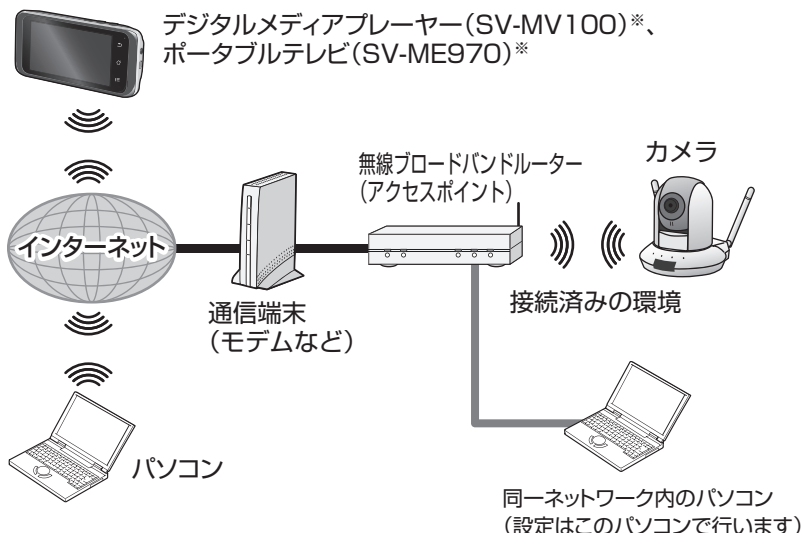
4 見たい映像を選び、「決定」を押す

お知らせ

● 録画される動画は約 30 秒間です。
● 録画した動画に音声は記録されません。
● 複数のカメラから短い間隔でセンサー通知があった場合や、テレビなど他の機器からアクセスしていた場合は、録画する時間が短くなったり、録画されないことがあります。
● センサー検知と同時にテレビなど他の機器からアクセスしていた場合は、録画される時間が短くなることがあります。
● ディーガでの操作や再生方法、録画できる時間、件数などについては、ディーガの取扱説明書をお読みください。
● ディーガ、ビエラ、パソコンで映像を同時に参照した場合やお使いのネットワーク環境により、動画の画質が落ちることがあります。
● 「動体検知」の設定を変更する場合は、パソコン (⇨ 48) またはデジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビの「簡単カメラ設定」アプリ (⇨ 67) で行ってください。

お出かけ先で使うには

カメラとお使いのルーターの設定を適切に行うと、カメラの映像をインターネットを通して、お出かけ先などからリアルタイムで表示することができます。ここではダイナミック DNSサービスを利用して、カメラの映像を見る方法について説明します。
お使いになっているルーターのメーカー、機種、ルーターがどのように使われているか、などによって、必要な設定が異なります。まず、お使いのルーターをご確認ください。

- ルーターとは、ネットワークの中継装置です。異なる２つ以上のネットワークが接続され、ある１つのネットワークから来たデータを、その宛先アドレス(IPアドレス)に基づいて適切な別のネットワークへ送出するという役目を持っています。
- ダイナミックDNSサービスにCyberGate DDNSまたはDynDNSをお使いの場合は、あらかじめお使いになるサービスの登録を済ませてください。(⇨ 90) PlanexTV をお使いになる場合は、あらかじめ登録する必要はありません。

※　お出かけ先で接続する場合は、公衆無線 LAN サービスを提供している場所でお使いください。

お知らせ

- ダイナミックDNSはサービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

お出かけ先から視聴するには、IPCam 管理者ユーティリティーを使って、以下の作業を行ってください。

1 カメラの IP アドレスを固定化する

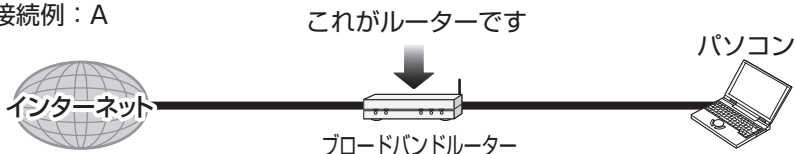
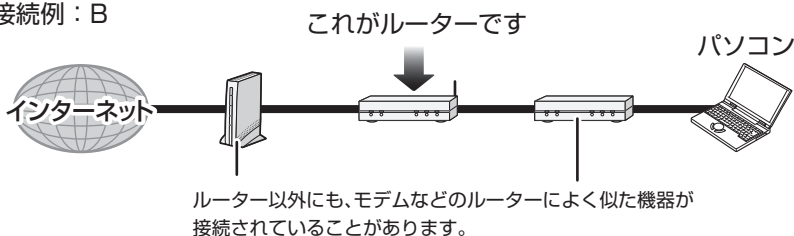
- 「基本設定」メニューの「ネットワークタイプ」を「固定 IP アドレス」にする。(⇒ 39)
- 「基本設定」メニューの「IPアドレス」を変更し、変更後のIPアドレスをメモする。(⇒ 39)

2 お使いのルーターの確認をする

- お使いの環境によっては、モデムやハブなど、ルーターによく似た機器が接続されています。どれがルーターがわからないときは、ご契約のインターネット接続業者か、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続例：A

接続例：B

ルーター以外にも、モデムなどのルーターによく似た機器が接続されていることがあります。

3 ルーターの設定を変更する（ポート転送）(⇒ 82)

4 「ダイナミックDNSサービスの登録」(⇒ 90) をする

5 「ダイナミックDNS」の各設定を入力する (⇒ 45)

すべての設定終了後、お出かけ先からカメラの映像が正しく表示されているか、ご確認ください。(⇒ 91) 確認できない場合は、ルーターの接続が原因の場合があります。

お出かけ先で使うには（続き）

ルーターの設定を変更する（ポート転送）

ここでは、お出かけ先からルーターのポート転送の設定をします。

■ 本書では、以下のルーターについて、設定の方法を記載しています。

● 株式会社バッファロー製品	「WZR-HP-AG300H/V」	⇨ 83 ページへ
● NEC アクセステクニカ株式会社製品	「Aterm WR8700N」	⇨ 85 ページへ
● プラネックスコミュニケーションズ株式会社製品	「MZK-W300NH3」	⇨ 88 ページへ

■ その他のルーターをお使いの場合は

お使いのルーターの説明書でご確認ください。プロバイダーから提供されているルーターをお使いの場合で、設定方法がわからないときはご契約のインターネット接続業者か、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

また、下記サポートサイトで、ルーターの設定方法をご紹介しております。併せてご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html

■ 「ポート転送」について

本書では「ポート転送」で説明していますが、メーカーによって呼び方が異なります。

例：メーカーによる「ポート転送」設定機能のメニュー名称（2011 年 7 月現在）

株式会社バッファロー：	「ゲーム&アプリ」メニューの「ポート変換」
NEC アクセステクニカ株式会社：	「詳細設定」メニューの「ポートマッピング機能」
プラネックスコミュニケーションズ株式会社：	「セキュリティ」メニューの「仮想サーバ」 （「NAT」メニューの「ポート転送」）
A 社：	「詳細設定」メニューの「バーチャルサーバ（ポート開放）」
B 社：	「詳細設定」メニューの「ポートの開放」

例：株式会社バッファロー製品「WZR-HP-AG300H/V」をお使いの場合

ここでは株式会社バッファロー製品「WZR-HP-AG300H/V」を使った例で説明しています。

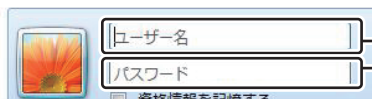
- お使いのルーターの説明書も併せてお読みください。
- 設定は一例であり、変更される可能性があります。

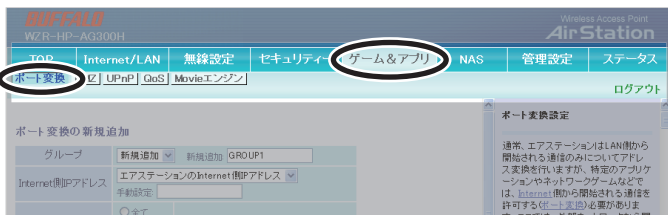
1 お使いのパソコンのWEBブラウザーを起動する

2 アドレスバーに「192. 168. 11. 1」と入力する

- ログイン画面が表示されます。
- 初期設定は「192. 168. 11. 1」に設定されています。変更している場合は、変更したアドレスを入力してください。

3 「ユーザー名」に「root」と入力し、「パスワード」は空欄にして、「OK」をクリックする

- 入力は半角文字で行ってください。
- 初期設定は「ユーザー名」が「root」、「パスワード」はなし（空欄）に設定されています。変更している場合は、変更したものを入力してください。

- 「WZR-HP-AG300H/V」のホーム画面が表示されます。

4 メニューの「ゲーム&アプリ」→「ポート変換」をクリックする

- 「ポート変換の新規追加」の入力画面が表示されます。
- 株式会社バッファロー製品では、「ポート転送」のことを「ポート変換」と表現しています。

お出かけ先で使うには（続き）

5 ポート転送のための情報を入力する

■ HTTPポート［インターネット（WAN）側］の入力

※１　新規追加の名称は一例です。（ここでは「GROUP１」と入力しています）ご自由に入力してください。
※２　カメラのHTTPポート番号の初期設定は「80」です。変更している場合は、変更した値を入力してください。

■ HTTPポート［カメラ（LAN）側］の入力

※３　39 ページの「IP アドレス」で変更した固定された IP アドレスを入力してください。
※４　カメラのHTTPポート番号の初期設定は「80」です。変更している場合は、変更した値を入力してください。

6 ポート転送のための情報を入力した後、「新規追加」をクリックする

●登録が成功すると、「ポート変換登録情報」の欄に追加した情報が表示されます。

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作	
GROUP1	エアステーションのInternet側IPアドレス 192.168.11	HTTP(TCPポート:80) HTTP(TCPポート:80)	OFF	修正 削除

ポート転送の設定は完了です。

●ログアウトして、ルーターの設定を終了させてください。
●デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでルーターの設定を行った場合は、ブラウザーを閉じてください。

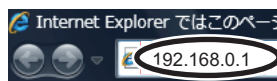
例：NEC アクセステクニカ株式会社製品「Aterm WR8700N」をお使いの場合

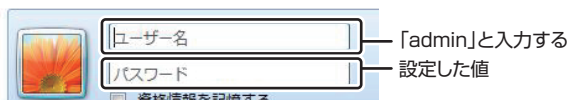
ここではNEC アクセステクニカ株式会社製品「Aterm WR8700N」を使った例で説明しています。

- お使いのルーターの説明書も併せてお読みください。
- 設定は一例であり、変更される可能性があります。
- AtermStation については、下記のサイトで確認できます。(2011 年 7 月現在)
  http://121ware.com/aterm/

1 お使いのパソコンのWEBブラウザーを起動する

2 アドレスバーに「192. 168. 0. 1」と入力する

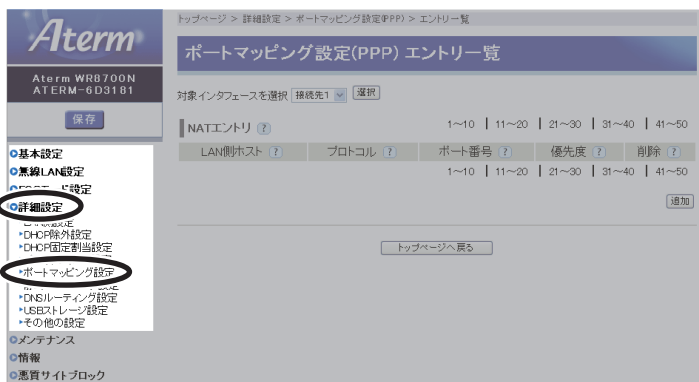
- ログイン画面が表示されます。
- 初期設定は「192. 168. 0. 1」に設定されています。変更している場合は、変更したアドレスを入力してください。

3 「ユーザー名」に「admin」、「パスワード」は設定した値を入力し、「OK」をクリックする

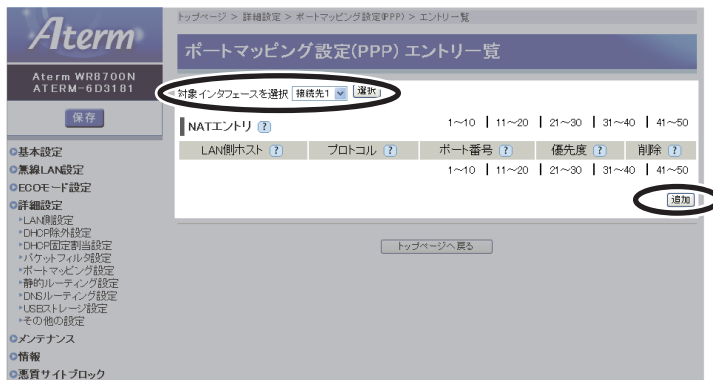
- 入力は半角文字で行ってください。
- 初期設定は「ユーザー名」が「admin」に設定され、「パスワード」はユーザーによる設定となっています。変更している場合は、変更したものを入力してください。

- 「Aterm WR8700N」のホーム画面が表示されます。

4 メニューの「インターネット利用可能」になっている「接続先」を確認する

お出かけ先で使うとき

お出かけ先で使うには（続き）

5 メニューの「詳細設定」→「ポートマッピング機能」をクリックする

● NEC アクセステクニカ株式会社製品では、「ポート転送」のことを「ポートマッピング機能」と表現しています。

6 手順 4 で確認した接続先を「対象インタフェースを選択」のメニューから選び、「追加」をクリックする

● 複数の接続先がある場合は、設定する対象の接続先を選んでください。

7 ポート転送のための情報を入力後、「設定」をクリックしてから、「前のページへ戻る」をクリックする

※1　固定 IP アドレスを入力してください。固定 IP アドレスの設定については、39 ページをお読みください。
※2　カメラのHTTPポート番号の初期設定は「80」です。変更している場合は、変更した値を入力してください。

8 手順 7 で入力した値を確認した後、「保存」をクリックする

入力した値が確認できたら、「保存」をクリック

ポート転送の設定は完了です。

- デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでルーターの設定を行った場合は、ブラウザーを閉じてください。

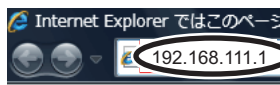
例： プラネックスコミュニケーションズ株式会社製品「MZK-W300NH3」をお使いの場合

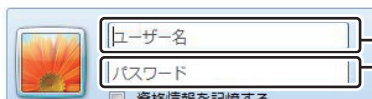
ここではプラネックスコミュニケーションズ株式会社製品「MZK-W300NH3」を使った例で説明しています。

- お使いのルーターの説明書も併せてお読みください。
- 設定は一例であり、変更される可能性があります。

1 お使いのパソコンのWEBブラウザーを起動する

2 アドレスバーに「192. 168. 111. 1」と入力する

- ログイン画面が表示されます。
- 初期設定は「192. 168. 111. 1」に設定されています。変更している場合は、変更したアドレスを入力してください。

3 「ユーザー名」に「admin」、「パスワード」に「password」と入力し、「OK」をクリックする

- 入力は半角文字で行ってください。
- 初期設定は「ユーザー名」が「admin」、「パスワード」は「password」に設定されています。変更している場合は、変更したものを入力してください。

- 「MZK-W300NH3」のホーム画面が表示されます。

4 メニューの「セキュリティ」→「仮想サーバ」をクリックする

5 「仮想サーバ」の各項目を入力して、「適用」をクリックする

※1　固定 IP アドレスを入力してください。固定 IP アドレスの設定については、39 ページをお読みください。
※2　カメラのHTTPポート番号の初期設定は「80」です。変更している場合は、変更した値を入力してください。

6 「ポート転送一覧」に入力した項目が追加されていることを確認する

ポート転送の設定は完了です。

- デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでルーターの設定を行った場合は、ブラウザーを閉じてください。

お出かけ先で使うとき

お出かけ先で使うには(続き)

2 台目のカメラを接続する場合

2 台目以降のカメラを接続する場合は、以下をご参照ください。

■ カメラの設定 (⇨ 40, 「HTTPポート」)

カメラの設定画面をブラウザーで開き、HTTPポート番号を1台目(初期設定「80」)とは異なる値に設定してください。

- 他の機器で使用しているポート番号とは異なる値にするようにしてください。
- 設定可能な範囲は「1」～「65535」です。(例:2 台目は「81」、3 台目は「82」など)

■ ルーターの設定 (⇨ 82 ～ 89)

ルーターの設定画面をブラウザーで開き、1台目を設定したときと同じ手順でポート転送の設定を行ってください。ただし、以下の項目は 2 台目の端末に合わせて入力してください。

- カメラ(LAN)側 IP アドレス：2 台目の端末の IP アドレス
- カメラ(LAN)側 HTTPポート番号：上記で設定したポート番号
- インターネット(WAN)側ポート番号：カメラ(LAN)側ポート番号と同じ値※

※指定できるルーターとできないルーターがあります。

■ 各端末からの視聴方法 (⇨ 91)

HTTPポート番号を「80」以外に設定した場合は、ブラウザーなどにURLを入力する場合に、ポート番号を指定する必要があります。

(例:アドレスが「http://test.cs.planex.tv」の場合)

- HTTPポート番号が「80」の場合：「http://test.cs.planex.tv」を入力
- HTTPポート番号が「81」の場合：「http://test.cs.planex.tv:81」を入力

ダイナミックDNSサービスの登録

お出かけ先からカメラの映像を見るために、お客様専用のドメイン名(インターネット上の名前)を登録します。

- 「ダイナミック DNS」を「PlanexTV」に設定しているときは、この登録は不要です。
- 「ダイナミックDNS」を「CyberGate DDNS」、「DynDNS」に設定してお使いになる場合は、あらかじめそれぞれのサービスに登録してお使いください。「CyberGate DDNS」、「DynDNS」について、詳しくは下記のサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html

カメラの設定をする(ダイナミックDNS設定)

ダイナミックDNSサービスの登録とホスト名の登録が完了したら、カメラの設定を行います。

準備:

- カメラとルーターをネットワーク接続する。(⇨ 17 〜 29)

ここでは、カメラと同一ネットワーク上に接続されたパソコンで設定します。

1 ブラウザー設定画面を起動する (⇨ 29)

2 設定メニューの「ネットワーク」→「ダイナミックDNS」を選び、各設定を入力する (⇨ 45)

お出かけ先でカメラの映像を見る

すべての設定が完了していれば、お出かけ先からカメラの映像を見ることができます。

1 WEBブラウザーを起動する

2 アドレスバーにダイナミックDNSサービスに登録したときに取得したドメイン名などを入力する

- ダイナミック DNS で登録したホスト名を入力します。(⇨ 45)

例: プロバイダに「PlanexTV」を選択し、ホスト名を「test」と入力した場合
http://test.cs.planex.tv　を入力します。

3 ログイン画面が表示されたときは、ユーザー名に「admin」、パスワードに「admin」を入力する。

- パスワードを変更しているときは、変更したものを入力してください。

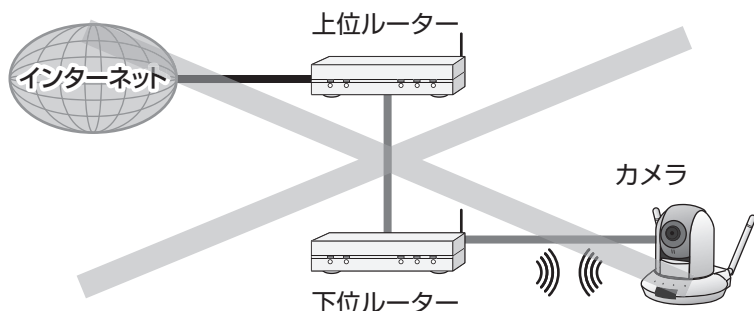
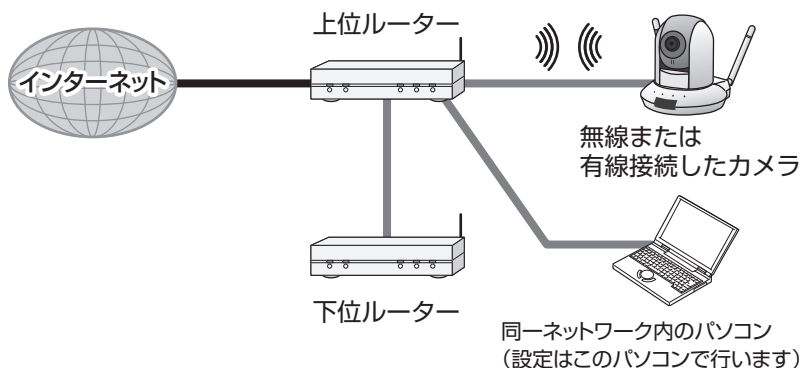
4 カメラの映像を確認する

- 正しく表示されているかを確認します。映像が確認できないときは、もう一度やり直してください。

お知らせ

- お使いのインターネット環境によっては、同一ネットワーク内からダイナミックDNS経由では正しく表示できない場合があります。その場合は、別のインターネット環境でお試しください。
- 宅内のカメラの映像を見たい場合は、ブラウザーにはローカルのIPアドレスを入力するか、IPCam 管理者ユーティリティーを使うようにしてください。
- ダイナミック DNS サービスに登録してから、実際に登録したアドレスが使えるようになるまで時間がかかることがあります。また、インターネット環境の変化により、ダイナミック DNS で登録したアドレスにアクセスできるようになるまで時間がかかることがあります。お出かけ先で視聴できないときは、しばらく時間をおいてから試してみてください。

ルーターの接続について

下記のように2台のルーターを設置して下位ルーターにカメラを接続している場合、お出かけ先から使うことはできません。
上位ルーターにカメラを接続してお使いください。

■ 上位ルーターにカメラを接続して使う

カメラをアップデートする

カメラを最新のファームウェアに更新することができます。
最新のファームウェアは、サポートサイトからアップデートファイルをパソコンにダウンロードすることで取得できます。

準備:

- カメラとルーターをネットワーク接続する。(⇨ 17 ～ 29)
- IPCam 管理者ユーティリティーをパソコンにインストールする。(⇨ 26)

1 最新のファームウェアを、パソコンにダウンロードする

- 以下のサポートサイトでアップデートファイルがあるかを確認します。
  http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html

2 IPCam 管理者ユーティリティーでカメラを検索する (⇨ 29)

3 設定メニューの「システム設定」→「ユーティリティ」→「ファームウェアのアップデート」を実行する (⇨ 55)

- ファームウェアの更新を開始します。
- 更新が完了すると、カメラが再起動します。

お知らせ

- アップデートの内容についてはサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html

サポート情報

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社(以下、パナソニックと言う)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2) パナソニックにライセンスされた第三者保有のソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1)に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) The Independent JPEG Groupが開発したソフトウェア、及び、the University of California, Berkeley and its contributors によって開発されたソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。

http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html

http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々が著作権を保有しています。これらの著作権者の詳細については、ソースコードを記録した配布メディアをご参照ください。

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人·団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest.vaccessory@gg.jp.panasonic.com

上記 (3)、(4) および (5) に分類されるオープンソースソフトウェアについては、それぞれ製品の「システム設定」メニューの「ステータス」内「ソフトウェア情報」に記載の所定の条件をご参照ください。

ビエラ、ディーガの対応機種一覧

（2011 年 8 月現在）

商品名	対応機器の品番
テレビ （ビエラ）	VT2/VT3/ DT3/GT3/ST3/RT2B/ V1/V2/ D2/ G1/G2/G3/ S2/S3/ R1/R2/R3/R2B/ X1/X2/X3/ Z1/ C2/C21/C1/C10/ F1/ PZR900/ PZ800/PZ85/PZ80/ PX80/ LZ85/LZ80/ LX80/LX8 シリーズ
ブルーレイディスク レコーダー/ DVD レコーダー （ディーガ）	DMR-BZT9000/BZT910/BZT810/BZT710/ BZT900/BZT800/BZT700/BZT600/ BWT3100/BWT2100/BWT1100/ BWT3000/BWT2000/BWT1000/BWT500/ BWT510/ BW890/BW690/ BW880/BW780/BW680/ BW970/BW870/BW770/ BW950/BW850/BW750/ BW930/BW830/BW730/ XW320/XW120
ブルーレイディスク プレーヤー搭載ポータブル 地上デジタルテレビ / ポータブル地上デジタル テレビ	DMP-BV300/ DMP-HV200/DMP-HV150
上記以外の対応機器については、下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/bd/product/dy_nc10.html	

サポート情報（続き）

■ AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

■ インターネットの接続・環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。接続する機器の説明書もご覧ください。

- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ・修理依頼する場合は、初期化して、再設定してください。
  - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- パソコンなどカメラにアクセスできる端末を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- カメラにアクセスしたあとは、セキュリティー強化のため、必ずすべてのブラウザーを閉じてください。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（ADSL モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- ブロードバンドレシーバー機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- カメラがお手元にない場所から問い合わせの際、カメラ自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

故障かな！？

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

カメラを持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないようにお気をつけください。故障や誤動作の原因になります。

こんなときは	ここを確かめてください
電源が入らない。	● ACアダプターが正しく接続されているか確かめてください。(⇨ 22)
パソコンからカメラに接続できない。	● ご使用のパソコンのIPアドレスの設定をご確認ください。カメラとパソコンが同一ネットワーク内になければ、カメラとパソコンは接続できません。 ● カメラに接続するのに設定したIPアドレスを正しいものに設定してください。 ● カメラのIPアドレスを固定化した場合に、カメラのIPアドレスを忘れたときは、カメラ側面のRESETボタンを押して、設定を工場出荷時状態にリセットする必要があります。リセットボタンを押すのに、ペンなどの先の細いものをご用意ください。リセットボタンを5秒押し続けると、IP アドレスの設定が「DHCP」(DHCPサーバーがないときは「192.168.1.200」)に戻ります。 ● カメラの電源がオンになっているか(電源ランプが点灯しているか)ご確認ください。(⇨ 11) ● もしカメラへの接続をインターネットから試みているときは、カメラが使っているポート(「HTTPポート」(⇨ 40))がファイアウォール、またはその他のソフトウェア･ハードウェアによってブロックされていないかをご確認ください。
カメラが反応しない。	● LAN ケーブルや無線接続が切断されていないか、ご確認ください。 ● コンセントからACアダプターを抜いて、10秒後に再び接続してください。その後、カメラを再び接続してみてください。

故障かな！？（続き）

こんなときは	ここを確かめてください
映像の更新がとても遅い。	●「フレームレート」を低く設定してみてください。(⇨ 33) ●「解像度」を低く設定してみてください。(⇨ 33) ●カメラをお出かけ先から接続している場合、カメラが原因ではなく、インターネット接続の速度の遅さが原因である可能性があります。映像の更新が遅いと感じたときは、より低い「フレームレート」、「解像度」に設定してください。 ●無線で接続しているときは、アンテナを調整してください。受信状態が最も良くなるように、アンテナは地面に垂直になるように設置してください。また無線アクセスポイントの受信範囲内で正しくお使いください。 ●PPPoE を使用してインターネットに接続しているときは、「MTU」設定を調整してみてください。(⇨ 40) 詳細については、ご契約のインターネット接続業者、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。 ●デジタルメディアプレーヤーまたはポータブルテレビでカメラの映像を見る場合、ワンセグ録画中やDLNAによるコンテンツ転送中など、端末で他の処理が動作している間は表示･更新が遅れる場合があります。
映像がぼやけている。	●カメラのピントリングを調整してください。(⇨ 31) ●「明るさ」の設定を調整してみてください。(⇨ 34)
カメラで撮影した映像をメールやFTP で送信するように設定したが、何も送られてこない。	●映像をメールで送信するように設定したときは、迷惑メール対策でブロックされていないかご確認ください。 ●お客様がFTPにデータをアップロードする許可を受けているかご確認ください。(許可を受けているかどうかは「テストファイルの送信」ボタンをクリックすることで確認できます。)(⇨ 52) ●もしSMTPサーバーが認証を要求しているときは、SMTPサーバーのユーザー名/パスワードが正しいかご確認ください。(正しいかどうかは「テストメールを送信」ボタンをクリックすることで確認できます。)(⇨ 51) ●もしFTPアップロードまたはメール送信のエラーが起きていれば、ログに記載されています。ログの記載内容を見て、問題の解決策のヒントになることもあります。 ●「感度」をより高い設定に変更してください。(⇨ 49)

こんなときは	ここを確かめてください
「カメラから出力」の機能を使っても、カメラから何も聞こえない。	●パソコン側で入力された音声を出力するためには、外部スピーカー（市販品）が必要です。外部スピーカーを接続してお使いください。
パン/チルト機能を使うと、異常な音が聞こえる。	●カメラの回転部に何か詰まっているものがないか確認して、あれば取り除いてください。 ●パン/チルト機能を使おうとするとカメラが反応しないときは、カメラ内蔵のサーボ·モーターが故障している可能性があります。修理ご相談窓口にお問い合わせください。
IPCam 管理者ユーティリティーまたは「簡単カメラ設定」アプリから、同一ネットワーク内にあるカメラが見つからない。	（有線接続の場合） ●カメラやルーターの電源が入っているか確認してください。 ●LAN ケーブルが接続されており、カメラの「有線 LAN ランプ」が点灯していることを確認してください。 ●「有線LANランプ」が点灯していない場合は、カメラをリセットする (⇨ 10)、あるいは、コンセントから AC アダプターを抜いて 10 秒後に再接続するなどして改善するか確認してください。それでも改善しない場合は、修理ご相談窓口までご連絡ください。 （無線接続の場合） ●カメラの「無線LANランプ」が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は正しく無線接続できていない可能性があるため、一度LANケーブルで接続し、無線 LAN の設定を確認してください。 ●LANケーブルが接続されていると、無線機能が働きません。LANケーブルを抜いてください。(⇨ 21)
(宅内で)ネットワークカメラの映像が視聴できない。	●動体検知機能が働いてディーガに動画を転送している間は、他の端末からカメラの動画を見ることはできません。動画の転送が終わるまで（約 30 秒）お待ちください。 ●同時にアクセスできる端末は 16 台までです。 ●「解像度」「ビデオ形式」「フレームレート」等のパラメーターを変更してみてください。 ●お使いの端末やパソコンの環境によっては動画を再生できない場合があります。

故障かな！？（続き）

こんなときは	ここを確かめてください
お出かけ先からネットワークカメラの映像が視聴できない。	●宅内で映像が見られるかどうか確認してください。映像が見られない場合は、「(宅内で)ネットワークカメラの映像が視聴できない。」(⇨ 99) を確認してください。 ●お出かけ先からの視聴にはダイナミック DNS サービスへの登録が必要です。(⇨ 90) ●カメラの「ダイナミックDNS」機能が「有効」になっているか確認してください。また、ダイナミック DNSサービスに関する各種情報が正しく設定されていることを確認してください。(⇨ 45) ●ルーターのポート転送設定が正しくできているか確認してください。 ●カメラのIPアドレス、ポート番号を変更した場合は、変更した内容に合わせてルーターへのポート転送設定をし直してください。 ●ダイナミック DNS サービスに登録してから、実際に登録したアドレスが使えるようになるまで時間がかかることがあります。また、インターネット環境の変化により、ダイナミック DNS で登録したアドレスにアクセスできるようになるまで時間がかかることがあります。お出かけ先で視聴できないときは、しばらく時間をおいてから試してみてください。
「簡単カメラ設定」アプリで設定中に、「外部からカメラへの疎通を確認できませんでした」と表示される。	●ルーターへのポート転送設定が正しくできていない可能性があります。もう一度ルーターへのポート転送設定を行ってください。(⇨ 82〜89) ●ルーターが複数台設置されている場合は、上位ルーターにカメラが接続されていることを確認してください。(⇨ 92) ●ポート転送の設定方法は、ルーターによって異なります。また、ルーターによってはアドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングなどと説明されている場合もあります。詳しくは、ルーターの説明書をご確認ください。
宅内(同一ネットワーク内)にあるカメラの映像を見るために、お出かけ先からアクセスするためのアドレスを入力して端末から見ようとしたが、見られない。	●お使いのインターネット環境によっては、宅内(同一ネットワーク内)からダイナミックDNS経由では正しく表示できない場合があります。その場合は、別のインターネット環境でお試しください。 ●宅内のカメラの映像を見たい場合は、ブラウザーにはカメラのIPアドレスを入力するか、IPCam 管理者ユーティリティーを使うようにしてください。

よくある質問（Q & A）

こんなときは	ここを確かめてください
SDXCカードは使えますか？	●本機（カメラ）では SDXC カードは使えません。(⇒ 23)
音声は録音できますか？	●パソコンで録画した動画には音声も記録されます。(⇒ 35) ●ディーガで録画した動画に音声はありません。(⇒ 79)
ビエラでカメラの画像を見ているときに、ディーガに録画できますか？	●ビエラを含む他の機器でカメラの映像を見ているときは、ディーガで録画できません。また、ディーガで録画中は他の機器でカメラの映像を見ることはできません。(⇒ 77)
みえますねっとは使えますか？	●本機（カメラ）では、みえますねっとhome、みえますねっとlite、みえますねっと（パナソニック ネットワークサービシズ株式会社）は利用できません。

本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

著作権など

- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi CERTIFIED”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、本書に記載の会社名·ロゴ·製品名·ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

仕様

電源	DC 12 V
消費電力	約 4.5 W

■ 本体仕様

寸法	約幅 113 mm× 高さ 120 mm× 奥行き 116 mm (アンテナ部を含まず)
質量	約 304 g(本体のみ) 約 321 g(アンテナ 2 本含む)
許容周囲温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10%～ 80%RH(結露なきこと)

■ カメラ部仕様

撮像素子	1/4 インチ、カラーCMOS
レンズ	f:5.0 mm、F:2.8
画素数	130 万画素
解像度	MJPEG: 1280×1024(SXGA)、 640×480(VGA)、320×240(QVGA)
パン / チルト動作範囲	パン:355°(± 177°)、チルト:120°(+90°、−30°)
ホワイトバランス	自動
ゲインコントロール	自動
露出	自動

■ マイク部仕様

内蔵マイク	無指向性マイク
サンプリングレート	8 kHz
周波数帯域	50 ～ 16,000 Hz
S/N 比	58 dB

■ 専用 ACアダプター(品番:RFEA226J)

入力	100 V、50/60 Hz、24 VA
出力	DC 12 V、800 mA

■ 無線 LAN

アンテナ	RSMA アンテナ ×2(取り外し可能)
対応規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n 準拠 ARIB STD-T66(2.4 GHz 帯)
伝送方式	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重(OFDM 方式)
	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重(OFDM 方式)
周波数範囲/チャンネル(中心周波数)	IEEE802.11b/IEEE802.11g/IEEE802.11n:(2.4 GHz 帯) 2.412 ～ 2.472 GHz/1 ～ 13 ch
データ転送速度(規格値※1)	IEEE802.11b: 最大 11 Mbps 11、5.5、2、1 Mbps 自動認識
	IEEE802.11g: 最大 54 Mbps 54、48、36、24、18、12、9、6 Mbps 自動認識
	IEEE802.11n:最大 300 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャモード、アドホックモード※2
セキュリティー	WEP(64 bit/128 bit)、 WPA™/WPA2™(暗号化方式:TKIP/AES、認証方式:PSK)
WPS	対応(ハードボタン、PBC 方式、PIN 方式)

■ 有線 LAN

対応規格	IEEE802.3(10BASE-T)、 IEEE802.3u(100BASE-TX)
ポート数	1 ポート
コネクタ形状	RJ-45 コネクタ
伝送速度	10/100 Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	UTP/STP LAN ケーブル 10 Mbps:カテゴリ3以上、100 Mbps:カテゴリ5以上

■ 対応 OS ※3

- Windows XP(SP3) Home Edition/Professional
- Windows Vista(SP1、SP2) Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
- Windows 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate

仕様（続き）

■ 静止画（JPEG）

圧縮方式	JPEG（ベースライン方式）	
解像度	パソコン	1280×1024（SXGA）、640×480（VGA）、320×240（QVGA）
	ビエラ（テレビ）	640×480（VGA）、320×240（QVGA）
対応機能	SDカードへの記録、ネットワーク経由でのパソコン（HDD など）への記録、ビエラ（テレビ）での表示	

■ 動画

圧縮方式	MJPEG（MotionJPEG） ●SDカード、パソコン、HDDへの記録時のファイル形式はAVIファイル	
解像度	パソコン	1280×1024（SXGA ※8）、640×480（VGA）、320×240（QVGA）
	デジタルメディアプレーヤー※4	1280×1024（SXGA ※8）、640×480（VGA）、320×240（QVGA）
	ポータブルテレビ※5	1280×1024（SXGA ※8）、640×480（VGA）、320×240（QVGA）
	ディーガ（レコーダー）	640×480（VGA）
フレームレート	パソコン	30、15、10、5、3（フレーム/秒）
	デジタルメディアプレーヤー※4	30、15、10、5、3（フレーム/秒）
	ポータブルテレビ※5	30、15、10、5、3（フレーム/秒）
	ディーガ（レコーダー）	10（フレーム/秒）
対応機能	SDカードへの記録、ネットワーク経由でのパソコン（HDD など）への記録、ディーガ（HDD）への記録、デジタルメディアプレーヤー※4 またはポータブルテレビ※5 での表示	

■ 音声

圧縮方式	GSM6.10
ビットレート	13 kbps
対応機能	ネットワーク経由でのパソコン(HDD など)への記録、 パソコンからカメラ音声出力端子への出力

■ SD カード

スロット	SD メモリーカード	
対応カード	SD メモリーカード※6、7	
対応カード容量と フォーマット	SD カード	●2 GB 以下 ●FAT12/FAT16
	SDHCカード	●4 GB 以上～ 32 GB 以下 ●FAT32

※1 理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※2 アドホックモードでの利用はIEEE802.11g/bに限られます。
※3 Windows Media Player 11 以降が必要です。
カメラの設定には、Internet Explorer 6 SP1 以降が必要です。
※4 対応している当社製デジタルメディアプレーヤーは SV-MV100 です。
※5 対応している当社製ポータブルテレビは SV-ME970 です。
※6 SDHC カードを含む。
※7 mini タイプ、micro タイプの SD カードを含む。(専用のアダプター装着時)
※8 フレームレートの 30(フレーム / 秒)には対応していません。

お知らせ

- パソコン用ブラウザーは Internet Explorerのみサポートします。
- 有線、無線は排他利用となります。
- 製品の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

無線 LAN 使用上のお願い

無線 LAN を利用すると、家庭内で構築した無線 LAN 環境を経由して他機器と無線接続することができます。

● 宅内などで無線 LAN 接続するには、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。

■ 使用周波数帯

本機（カメラ）は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、付属のラベルに記載しています。

■ 機器認定

本機（カメラ）は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機（カメラ）を分解 / 改造することは、電波法で禁止されています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業･科学･医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口 (⇨ 裏表紙)

■ 使用制限

本機(カメラ)の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。制限をお守りいただけなかった場合、およびカメラの使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

● **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
　無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク(SSID*)が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあります。

● **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
　次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
・電子レンジ
・デジタルコードレス電話機
・その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く(Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)

● **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

* 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)のセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)のセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

お知らせ

● 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)への接続は、SSID や暗号キーが必要になる場合があります。詳しくは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)を設定した管理者にご確認ください。
● 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の設定については無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の説明書をお読みください。
● 無線 LAN は、電波強度が十分得られる場所でご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、ACアダプターを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体や ACアダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ·ゆるんだコンセントは、使わないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機の金属部や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災·感電の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

落下防止ワイヤー取り付け金具、メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

⚠注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- SD カードは、保護のため取り出しておいてください。

付属の AC アダプターを使う

付属外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

壁掛け・天井取り付け工事、および落下防止処置時

⚠警告

工事専門業者以外は取り付け工事や取り外しを行わない
工事の不備により、落下してけがの原因になります。

平らな面（壁 / 天井）以外の場所に取り付けない
落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。

本取扱説明書で指示した以外の取り付けは行わない
落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。

荷重に耐えられない場所に取り付けない
取り付け部の強度が弱いと、落下してけがの原因になります。

壁掛けの取り付け強度は 4 kg 以上を確保する
強度が不足すると、落下してけがの原因になることがあります。

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する
長期使用により設置場所の強度が不足すると落下してけがの原因になります。

⚠注意

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気、熱が当たるところ、エアコンの下などの水滴がかかるおそれのあるところに取り付けない

機器に悪影響を与え、火災・感電の原因になることがあります。

ねじ類や落下防止ワイヤー取り付け金具は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼす場合があります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

取り付けの際は、専門の構成部品を使用する

機器本体が落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。

取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部や配線部材と接触しないように設置する

壁内部の金属部や配線部材と接触して、感電の原因になることがあります。

機器本体を取り外す場合には、壁掛け金具も取り外す

壁掛け金具にあたるなどして、けがの原因になることがあります。

安全に操作するために、適切な高さに取り付ける

無理な体勢での操作は落下したり、けがの原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ **まず、お買い上げの販売店へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　　　（　　　）　　　ー

お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは・・・

「故障かな！？」、「よくある質問（Q & A）」（97～ 101ページ）でご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	ネットワークカメラ
●品　番	DY-NC10
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
（ただし、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用

部品代　部品および補助材料代

出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、このネットワークカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

お願い

停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK® **0120-878-982** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK® **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のネットワークカメラの点検を!

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0511

さくいん

英数字

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-982**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 コンシューマープロダクツ事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

VQT3T80-1
F0711MH1081